

# I 専門分野の成長戦略

## 農業分野

### 農業分野の取り組みの概要

#### ① 産業振興計画のこれまでの取り組みによる成果と課題

高齢化の進行等により農家戸数が減少する中、生産性の向上や販路の開拓、担い手の確保などに取り組んできたことにより、徐々にその成果が現れ、令和5年の農業産出額等は1,136億円と、産業振興計画がスタートした平成20年から10.7%増加しています。

具体的な取り組みとして、生産面では、オランダから学んだ環境制御技術を本県の生産条件に適合させた「次世代型こうち新施設園芸システム」にIoTやAI技術を組み合わせ、更なる増収、省力化等を目指す「Next次世代型こうち新施設園芸システム」の開発と普及を進めています。

中山間地域では、集落営農組織等の県内への拡大や農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進により、中山間地域の農業・農村を支える仕組みづくりを進めています。

流通・販売面では、卸売市場等とのさらなる関係強化による営業力の強化や県産青果物のトップセールス等、特に関西圏を中心に県産農畜産物の販売拡大に取り組んでいます。

さらに、担い手の確保では、産地提案型の担い手確保対策の県内への普及等の取り組みにより、新規就農者の確保につなげるとともに、労働力の確保に向けて、農福連携やJA無料職業紹介所と連携した取り組み等を進めています。

この他、基盤整備の推進と農地の確保の取り組みでは、地域計画の策定支援等により新規就農や規模拡大する担い手への農地の集積・集約等に取り組んでいます。

#### ② 第5期計画ver.2の取り組み

第5期計画では、「生産性の向上と持続可能な生産方式の両立により所得が確保され、いきいきと農業ができる環境が確立されている」ことや「多様な農業人材が農業生産や生産基盤の維持・保全活動に参画し、中山間地域の農業・農村が守られている」ことを目指し、次の5つを戦略の柱として、引き続き取り組みます。

#### 柱1 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化

IoTプロジェクトのさらなる推進とIoTクラウド「SAWACHI」に蓄積されるデータを活用したデータ駆動型営農支援の強化により、農業のデジタル化を推進し、生産性と収益性の向上に取り組めます。

また、近年の記録的な猛暑により様々な品目で影響が見られていることから、高温対策として効果が期待できる機器・資材の導入支援や高温に強い品種への転換を進めるなど、気候変動に適応した持続可能な農業の実現に向けて取り組みを強化します。

#### 柱2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

集落営農組織や農地の受け皿となる法人、農村RMO等、多様な農業人材の確保・育成により、中山間地域に適した品目の生産振興や農業の多面的機能の保持に取り組めます。

#### 柱3 流通・販売の支援強化

関西圏で成果が出てきている卸売市場等との連携による販売強化を横展開し、大都市圏での量販店フェアの強化等により県産農畜産物のさらなる販売額向上に取り組めます。また、青果物・ユズ果汁・花きの輸出の強化等、国外市場へのさらなる販路拡大にも取り組めます。

#### 柱4 多様な担い手の確保・育成

若者・女性に対する就農意欲の喚起や自営就農への支援に引き続き取り組みます。また、就農へのハードルを下げるトライアル就農制度の導入、産地の意向に基づいた企業版産地提案書の作成・PRIによる企業誘致の強化などによる雇用就農の増加に向けた支援を行い、多様な担い手の確保に取り組めます。

#### 柱5 農業全体をけん引する基盤整備の推進と優良農地の確保

令和6年度までに策定された地域計画の実行に向けた支援を行います。また、地域計画をもとに、基盤整備により優良農地を確保し、担い手への農地集積に取り組めます。

○生産性の向上と持続可能な生産方式の両立により所得が確保され、いきいきと農業ができる環境が確立されている  
○多様な農業人材が農業生産や生産基盤の維持・保全活動に参画し、中山間地域の農業・農村が守られている

目指す姿

分野を代表する目標

農業産出額等 (原料用米交付金含む)

農業生産量 (野菜主要11品目)

出発点 (R4) 1,081億円 ⇒現状 (R5) 1,136億円 ⇒ 4年後 (R9) 1,224億円 ⇒ 10年後 (R15) 1,248億円

出発点 (R4) 12.9万t ⇒現状 (R5) 12.5万t ⇒ 4年後 (R9) 14.1万t ⇒ 10年後 (R15) 14.6万t

## 柱1 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化

(1) Next世代型こうち新施設園芸システムの普及推進

- ① IoTプロジェクトの推進
- ② データ駆動型農業による営農支援の強化
- ③ 園芸産地の生産基盤強化
- ④ 地元と協働した企業の農業参入の推進

(2) 農業のグリーン化の推進

- ① 有機農業の推進
- ② 堆肥の利用促進
- ③ JPM技術の普及拡大
- ④ 施設園芸における省エネルギー対策
- ⑤ みどりの食料システム戦略の推進にかかる技術開発
- ⑥ 稲WCSの生産拡大

(3) 園芸品目別総合支援

- ① 野菜の生産振興
- ② 特産果樹の生産振興
- ③ 花きの生産振興
- ④ 大規模露地園芸の推進

point クリーン化による農業の構造転換で持続可能な農業を実現



## 柱4 多様な担い手の確保・育成

(1) 産地を支える新規就農者の確保・育成

- ① 産地提案型による自営就農者への就業支援の強化
- ② 雇用就農者の確保に向けた支援の強化
- ③ 畜産の担い手確保の推進

(2) 若者・女性への就業支援の強化

- ① 農業の職業としての認知度や魅力の向上
- ② 若者・女性向け農業体験・研修の強化
- ③ 仕事と家事、子育て等を両立できる意識改革の推進
- ④ 仕事と家事、子育て等を両立できる仕組みづくりへの支援
- ⑤ 女性が働きやすい環境整備への支援
- ⑥ 産地提案型による自営就農者への就業支援の強化 (再掲)
- ⑦ 雇用就農者の確保に向けた支援の強化 (再掲)
- ⑧ 法人の規模拡大と企業誘致の推進

(3) 労働力の確保

- ① JIA無料職業紹介所と連携した労働力の確保
- ② 農福連携の推進
- ③ 外国人材の受け入れ支援
- ④ 仕事と家事、子育て等を両立できる仕組みづくりへの支援 (再掲)

## 柱2 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

(1) 集落営農組織の拡大と農地の受け皿となる法人の育成

- ① 集落営農の推進
- ② 農地の受け皿となる法人の育成

(2) 組織間連携の推進と地域の中核組織の育成

- ① 農村型地域運営組織 (農村RMO) の推進

point

多様な農業人材・組織等により中山間地域の農業を守る



## 柱5 農業全体をけん引する基盤整備の推進と優良農地の確保

(1) 地域計画の着実な推進

- ① まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進
- ② 迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進
- ③ 担い手への農地集積の加速化
- ④ 園芸団地の整備促進

(2) 基盤整備の推進

- ① まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進 (再掲)
- ② 迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進 (再掲)

(3) 農地の確保

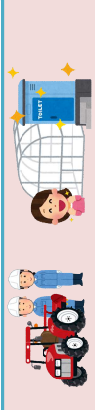
- ① 担い手への農地集積の加速化 (再掲)
- ② 園芸団地の整備促進 (再掲)

(4) 日本型直接支払制度の推進

- ① 中山間地域等直接支払制度の推進
- ② 多面的機能支払制度の推進

## 生産増 ▶ 所得向上 ▶ 担い手増の好循環を創出！

point 働きやすい環境整備により農業が女性・若者から選ばれる仕事へ



(4) 家族経営体の強化及び法人経営体の育成

- ① 認定農業者の育成支援
- ② 家族経営体の経営発展に向けた支援
- ③ 法人経営体への誘導と経営発展への支援

## 柱3 流通・販売の支援強化

(1) 「園芸王国高知」を支える市場流通のさらなる発展

- ① 卸売市場と連携した販売拡大
- ② マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大
- ③ 産地を支える集出荷システム構築への支援

(2) 直接取引等多様な流通の強化

- ① 1と2の点を活用した県産農産物の地産外需の強化
- ② 園芸品・米・茶・畜産物のブランド力の強化と総合的な販売PR

(3) 関西圏における県産農畜産物の販売拡大

- ① 卸売市場関係者との連携強化による県産農畜果物の販売拡大

point 大都市圏での量販店・エフア強化等により販売額をUP



# 農業分野で掲げる目標一覧

## ◆分野全体の目標

| 農業産出額等<br>出発点(R4):1,081億円 ⇒ 現状(R5):1,136億円 ⇒ R7目標:1,191億円 ⇒ 4年後(R9)の目標:1,224億円 ⇒ 10年後(R15)の目標:1,248億円<br>農業生産量<br>野菜主要11品目 出発点(R4):12.9万t ⇒ 現状(R5):12.5万t ⇒ R7目標:13.6万t ⇒ 4年後(R9)の目標:14.1万t ⇒ 10年後(R15)の目標:14.6万t |                                          |                                 |                            |                            |              |                |            |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|--------------|----------------|------------|
| 第5期計画<br>各産業分野の<br>取り組みの柱                                                                                                                                                                                         | 戦略の類型                                    | 第5期計画<br>戦略目標                   | 出発点                        | 現状値                        | R7年度<br>到達目標 | 4年後(R9)<br>目標値 | 重点施策<br>該当 |
| 1 生産力の向上と<br>持続可能な農業によ<br>る産地の強化                                                                                                                                                                                  | 1 構造転換型<br>2 地域産業スケ<br>ールアップ型<br>4 課題解決型 | 野菜主要7品目の生産量(年間)                 | 10.3万t<br>(R4)             | 10.0万t<br>(R5)             | 11.0万t       | 11.4万t         | ○          |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 果樹主要2品目の生産量(年間)                 | 2.06万t<br>(R4)             | 1.99万t<br>(R6)             | 2.36万t       | 2.41万t         |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 花き主要3品目の生産量(年間)                 | 1,634万本<br>(R4)            | 1,518万本<br>(R6)            | 1,563万本      | 1,518万本        |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 次世代型ハウスの整備面積(累計)                | 84.2ha<br>(H27～R4)         | 96.7ha<br>(H27～R6)         | 114.3ha      | 135ha          | ○          |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 肉用牛飼養頭数(年間)                     | 6,020頭<br>(R4)             | 6,154頭<br>(R5)             | 6,329頭       | 6,341頭         |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 稲WCSの作付面積(年間)                   | 284ha<br>(R4)              | 334ha<br>(R6)              | 338ha        | 354ha          |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 有機農業の取組面積(年間)                   | 146ha<br>(R4)              | 191ha<br>(R5)              | 207ha        | 271ha          |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 堆肥(家畜ふん・馬ふん)の利用量(年間)            | 32,251t<br>(家畜ふんR2, 馬ふんR5) | 29,063t<br>(家畜ふんR4, 馬ふんR5) | 34,098t      | 36,114t        |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 1経営体あたりの生産農業所得(付加価値額)(年間)       | 320万円<br>(R4)              | 366万円<br>(R5)              | 363万円        | 390万円          |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | 野菜主要11品目の反当収量(年間)               | 7.6t/10a<br>(R5)           | 7.6t/10a<br>(R5)           | 8.3t/10a     | 8.6t/10a       | ○          |
| 2 中山間地域の農<br>業を支える仕組みの<br>再構築                                                                                                                                                                                     | 1 構造転換型<br>4 課題解決型                       | 農地の受け皿となる法人数(累計)                | 53法人<br>(R4)               | 55法人<br>(R6)               | 59法人         | 65法人           |            |
|                                                                                                                                                                                                                   |                                          | スマート農業の実装面積(シヨウガでのドローン防除面積)(年間) | 1.8ha<br>(R4)              | 40ha<br>(R5)               | 91ha         | 150ha          |            |

| 第5期計画<br>各産業分野の<br>取り組みの柱           | 戦略の種類                        | 第5期計画<br>戦略目標            | 出発点                         | 現状値                         | R7年度<br>到達目標        | 4年後 (R9)<br>目標値 | 重点施策<br>該当 |
|-------------------------------------|------------------------------|--------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------------|------------|
| 3 流通・販売の支援<br>強化                    | 2 地域産業スケールアップ型<br>3 グローバル展開型 | 市場流通を中心としたJA販売額(年間)      | 602億円<br>(R5)<br>※R4.9～R5.8 | 626億円<br>(R6)<br>※R5.9～R6.8 | 626億円<br>※R6.9～R7.8 | 650億円           | ○          |
|                                     |                              | 直接取引等多様な流通による外商額(年間)     | 3.9億円<br>(R4)               | 4.7億円<br>(R5)               | 5.5億円               | 6.5億円           |            |
|                                     |                              | 農畜産物の輸出額(年間)             | 8.8億円<br>(R4)               | 10.1億円<br>(R5)              | 7.8億円               | 10億円            | ○          |
| 4 多様な担い手の<br>確保・育成                  | 5 人材起点型                      | 新規就農者数(年間)               | 214人<br>(R4)                | 215人<br>(R5)                | 320人                | 320人            | ○          |
|                                     |                              | うち女性新規就農者数(年間)           | 52人<br>(R4)                 | 47人<br>(R5)                 | 100人                | 100人            | ○          |
|                                     |                              | うち若年(15～34歳)女性新規就農者数(年間) | 16人<br>(R4)                 | 24人<br>(R5)                 | 50人                 | 50人             | ○          |
|                                     |                              | うち雇用就農者数(年間)             | 82人<br>(R4)                 | 63人<br>(R5)                 | 120人                | 120人            | ○          |
|                                     |                              | 認定農業者(新規認定者数)(年間)        | 121経営体<br>(R4)              | 167経営体<br>(R5)              | 150経営体              | 150経営体          |            |
| 5 農業全体をけん<br>引する基盤整備の推<br>進と優良農地の確保 | 5 人材起点型                      | 新規農業法人数(年間)              | 7法人<br>(R4)                 | 10法人<br>(R5)                | 16法人                | 16法人            | ○          |
|                                     |                              | ほ場整備の実施面積(累計)            | 69.5ha<br>(R2～R4)           | 144.6ha<br>(R2～R6)          | 210.4ha             | 303.4ha         |            |
|                                     |                              | きめ細かな基盤整備の実施地区(累計)       | -                           | 3地区<br>(R6)                 | 20地区                | 40地区            |            |
|                                     |                              | 担い手への農地集積面積(年間)          | 9,183ha<br>(R4)             | 9,098ha<br>(R5)             | 10,062ha            | 10,700ha        |            |

| 分野                     |                                                                                                                                         | 農業             |                |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |                                                                                                                                         |                |                |                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| No.                    | 戦略目標                                                                                                                                    | 出発点            | 直近値            | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 1                      | 野菜主要7品目の生産量(年間)<br>＜冬巻ナス、冬巻ピーマン、冬巻シシトウ、冬巻キュウリ、ニラ、ミョウガ、冬巻トマト＞<br>【モニタリング方法】<br>・年次データは、農林水産省「野菜生産出荷統計」を確認<br>・四半期データは、JA高知県「園芸販売取扱速報」を確認 | 10.3万t<br>(R4) | 10.0万t<br>(R5) | 11.4万t<br>(R9)    | 1 loPプロジェクトの推進<br>・データ連携基盤「loPクラウドSAWACHI」の本格運用を開始(R4～R9)<br>・「loPクラウド」利用農家数：(R7:3)<br>環境・画像データの利用農家数：803戸<br>出荷・気象データの活用農家数：1,603戸<br>データ取集農家数：3,273戸<br>2 データ駆動型農業による営農支援の強化<br>①データ駆動型農業を普及する指導体制の強化<br>・データ分析ができる技術指導員の更なる育成<br>・多品目(施設野菜、露地野菜、果樹、花き)で指導ができる職員育成と指導方針向上<br>②データ駆動型農業の実践支援<br>・増収や経営改善につながる産地単位の成功事例づくりと他産地への情報開 |
| 2                      | 果樹主要2品目の生産量(年間)<br>＜ユズ、ブンタン＞<br>【モニタリング方法】<br>各農業振興センターが調査する「園芸品目の統計調査」を確認                                                              | 2.06万t<br>(R4) | 1.99万t<br>(R6) | 2.41万t<br>(R9)    | 1 特産果樹の生産振興<br>①栽培面積の維持拡大<br>・優良園地の担い手への流動化<br>・水田跡等への新植推進による作業の効率化<br>②反収の増加<br>・技術指導による栽培管理の向上<br>・平坦地での栽培による作業の効率化<br>・新規栽培者の確保・育成による産地の若返り<br>・スマート農機の導入による省力化<br>・データ駆動型農業の推進<br>②ユズの新植推進<br>・果樹経営支援対策事業の活用推進事業<br>活用によるユズの新植面積：R4:5.8ha→R6:11ha<br>③新植栽培者への技術支援<br>・ユズWeb学習コンテンツの運用開始<br>利用農家数：R4:0名→R6:52名                   |

| 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                        | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ＜loPクラウド<br>ド利用農家<br>＞<br>1,177戸<br>(R6)<br>↓<br>4,000戸<br>(R9) | 1 loPプロジェクトの推進<br>①クラウド利用農家数の拡大と既登録者へのサポートの強化【R6～R9】<br>・JA県本部会での説明やJA購買窓口での個別説明などで周知の機会を増加<br>・補助事業の拡充によるloPクラウド利用農家数と環境測定装置導入農家数の拡大<br>強化<br>・野菜7品目で特に平均収量以下の農家等を対象に加入推進、雨よけ・露地は「しっかり稼ごうプロジェクト」の取り組みを<br>実施<br>・果樹は土壌水分データや気象データの活用促進<br>・花きは環境データの活用促進<br>②loPクラウドの利便性の向上【R6～R8】<br>・病害予測情報画面の構築及びSAWACHIの既存画面の改修など<br>・デジタル機器に不慣れな層にもデータが見やすく便利に使える画面の構築<br>③AIエンジンの開発<br>・生理生態情報に基づいた栽培管理のカイゼンのポイントの自動表示機能の開発等の営農支援機能の強化【R7】<br>・省エネルギーやコスト削減につながる最適な温度管理や適正施肥をシミュレーションするGAI関連機能の充実【R8】<br>・営農支援AIや収益改善AIを活用したトップ層に対する経営改善支援【R7～R9】<br>2 データ駆動型農業による営農支援の強化<br>①データ駆動型農業を普及する指導体制の強化【R6～R9】<br>・多品目(施設野菜、露地野菜、果樹、花き)でデータを活用した指導ができる若手の早期育成に向けた研修の充実<br>・JAと連携し、出荷データや環境データ、生理生態情報を活用した営農指導で収量増・品質向上<br>②データ駆動型農業の実践支援【R6～R9】<br>・農家に寄り添った営農支援により各地での成功事例づくりを強化<br>・品目別担当者会等を通じた成功事例の共有<br>⇒ 別図＜農01＞参照 (P21) | 1 特産果樹の生産振興<br>①栽培面積の維持拡大<br>・各産地における園地流動化の仕組みづくり【R6～R9】<br>・県本部のユズでの優良事例を県境へ波及<br>・園地情報の収集と関係機関との情報共有<br>・地域計画と連携し、園地台帳を効率的な手法で整備<br>○水田跡等への新植推進による作業の効率化<br>・果樹経営支援対策事業の活用による水田跡等への新植推進【R6～R9】<br>・産地耕作条件改善事業の活用によるユズ、温州みかんの園場整備の推進【R6】<br>・平坦地での栽培による作業の効率化【R6～R9】<br>②反収の増加<br>○技術指導による栽培管理の向上【R6～R9】<br>・部会や県域での講習会や交流会による技術の高位平準化<br>・ユズでの兼業農家や定年就業者等、幅広い対象への技術指導<br>(再掲)・平坦地での栽培による作業の効率化<br>・新規栽培者の確保、育成による産地の若返り【R6～R9】<br>・研修事業、地域おこし協力隊制度との連携【R6～R9】<br>・研修受け入れ農家の負担軽減の仕組みづくり【R6～R7】<br>○スマート農機の導入【R6～R9】<br>○ドローン防除やリモコン草刈り機等の普及<br>○データ駆動型農業の推進<br>・ブンタンや温州みかんの土壌水分データを活用したかん水等の実証【R6～R8】 |

| 分野                     |                                                                                                               | 農業                     |                        |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |                                                                                                               |                        |                        |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| No.                    | 戦略目標                                                                                                          | 出発点                    | 直近値                    | 4年後<br>目標<br>(R9)     | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 3                      | 花き主要3品目の生産量(年間)<br>＜コリ、トルコギキョウ、グロリオサ＞<br><br>【モニタリング方法】<br>・年次データは、「高知県の園芸」を確認<br>・四半期データは、JA高知県「園芸販売取扱速報」を確認 | 1,634万<br>本<br>(R4)    | 1,518万<br>本<br>(R6)    | 1,518万<br>本<br>(R9)   | 1.花きの生産振興<br>①データ駆動型農業の推進<br>・データを活用し、指導した農家数(コリ):<br>10戸(R6)<br>②高品質安定生産技術の開発・確立<br>・トルコギキョウの土壌病害対策の推進<br>・低濃度エタノール土壌還元処理:9戸<br>(R6)<br>③有望品種の探索及びオリジナル品種<br>育成、効率的な増殖技術<br>・グロリオサ県育成有望品種「オレンジ<br>ハート」の生産拡大 R1:3.4万本→R6:7.5<br>万本                                                                                                                                                                          | 1.花きの生産振興<br>①データ駆動型農業の推進<br>・花きにおけるデータ活用手法や効果が未<br>確立<br>②中山間地域の花き生産拡大<br>・気象変動(特に高温対策技術)対策<br>③消費者・実需者ニーズに対応した新品種の導<br>入支援<br>・需要の変化や為替や経費高騰で収益性が悪<br>化している品目の対策<br>④果域組織の活動活性化<br>・コロナ禍で組織活動や産地間交流機会の減<br>少                                                                                                                                                                                                  |
| 4                      | 次世代型ハウスの整備面積<br>(累計)<br><br>【モニタリング方法】<br>・四半期毎に事業申請状況を<br>確認                                                 | 84.2ha<br>(H27～<br>R4) | 96.7ha<br>(H27～<br>R6) | 135ha<br>(H27～<br>R9) | 1.園芸産地の生産基盤強化<br>①環境制御装置を標準装備した次世代型<br>ハウスの整備支援<br>・次世代型ハウスの整備面積:466棟96.7ha<br>(H27～R6)<br>・ハウスの業者が提案する低コストモデルハ<br>ウスの整備:3棟(R4～R5)<br>・低コストモデルハウス現地見学会による<br>検証結果の周知(R5～R6)<br>・ハウスの整備に係るコスト低減策に関する<br>検討会(R6)<br>・既存ハウスの高度化に向けた支援(R5～<br>R6)<br>2.地元と協働した企業の農業参入の推進<br>・参入企業:12社19.8ha(H27～R6)<br>・企業参入のための園芸用農地の確保<br>・園芸団地候補地:6区(H28～R6)<br>・立地企業へのアフターフォロー<br>・参入企業が他市町村で規模拡大:日高村<br>2.1ha+南国市1.1ha(R4) | 1.園芸産地の生産基盤強化<br>①次世代型ハウスの整備支援<br>・資材費高騰により農家の投資意欲が減退<br>・中長期的なハウスの整備の意向に基づく計<br>画的な整備が必要<br>・ハウスの整備のコスト低減策が周知できてい<br>ない<br>・既存ハウスの高度化支援が十分に周知され<br>ていない<br>2.地元と協働した企業の農業参入の推進<br>・ハウスの整備に係るコスト低減策に関する<br>検討会(R6)<br>・既存ハウスの高度化に向けた支援(R5～<br>R6)<br>2.地元と協働した企業の農業参入の推進<br>・参入企業:12社19.8ha(H27～R6)<br>・企業参入のための園芸用農地の確保<br>・園芸団地候補地:6区(H28～R6)<br>・立地企業へのアフターフォロー<br>・参入企業が他市町村で規模拡大:日高村<br>2.1ha+南国市1.1ha(R4) |

| 分野           |  | 農業                     |
|--------------|--|------------------------|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  | 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |

| No. | 戦略目標                                                                              | 出発点 | 直近値 | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                        | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI) |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 5   | 肉用牛飼養頭数(年間)<br>【モニタリング方法】<br>・レンタル畜産施設整備事業による畜舎整備10戸(R1～R5)<br>・畜産振興課「家畜頭羽数調査」による |     |     |                   | 1 肉用牛の生産基盤の強化<br>①畜舎整備への支援<br>・レンタル畜産施設整備事業による畜舎整備10戸(R1～R5)<br>②肉用牛導入に必要な資金の供給<br>・基金造成7市町村470頭(R1～R5)<br>2 肉用牛の生産性の向上<br>①受精卵移植による土佐あかうし増頭(県内酪農家との連携)<br>②繁殖発見装置などIoTシステムの普及<br>3 土佐あかうしに加えて土佐黒牛のブランド化の推進<br>・TRB規格による枝肉価格の向上<br>※飼育頭数(H30→R4)<br>土佐あかうし 2,399頭→2,434頭<br>土佐和牛(黒毛) 2,628頭→2,696頭<br>ほか肉用牛 959頭→ 890頭<br>⇒急激な飼料価格高騰より肥育農家・繁殖農家の経営が悪化し肉用牛生産基盤の弱体化が懸念<br>4 飼料価格高騰等の影響を受けにくい畜産への構造転換<br>・国策で成実を挙げている専門家を活用した労働生産性向上の取り組み手法(カイゼンの取り組み)についてモデル農家での実施→11農場(うち肉用牛4農場)(R5) | 1 肉用牛の生産基盤の強化【R6～R9】<br>①施設整備への支援の継続(レンタル畜産施設整備事業等)<br>②肉用牛導入に必要な資金の供給の継続(土佐和牛経営安定基金)<br>2 肉用牛の生産性の向上【R6～R9】<br>①受精卵移植により生産された土佐あかうしの生産計画の達成<br>・年間100頭の子牛生産を継続<br>②繁殖発見装置や分娩監視装置などIoT機器の導入支援や遠隔診療による生産性向上<br>・特に中山間、小頭数飼い農家への普及を支援<br>3 土佐あかうし・土佐黒牛の消費拡大に向けたブランド化の推進【R6～R9】<br>①土佐あかうしブランド化の推進<br>・TRB規格による肉質・価格の底上げ<br>②土佐和牛のうち黒毛を「土佐黒牛」として新たにブランド化を推進<br>・4等級以上に格付された土佐和牛(黒毛)の付加価値化に取り組み<br>③土佐黒牛の需要喚起や認知度向上の取り組み<br>・県内飲食店や量販店などでのPRキャンペーンの実施【R7】<br>4 飼料価格高騰等の影響を受けにくい畜産への構造転換【R6～R9】<br>①稲WCSの生産拡大や広域流通に向けた取り組みへの支援<br>(稲WCS作付面積 R4:284ha→R9:354ha)<br>②労働生産性向上への取り組み(カイゼンの取り組み)の継続<br>・モデル農家での取り組みを県内全体へ波及 | ＜土佐黒牛<br>出荷頭数<br>(純増地<br>産)＞<br>624頭(R5)<br>↓<br>694頭(R9)                                |                          |
| 6   | 稲WCSの作付面積(年間)<br>【モニタリング方法】<br>・水田活用直接支払交付金<br>対象面積の集計による                         |     |     |                   | 1 稲WCSの生産拡大<br>①稲WCSの生産拡大、②稲WCSの利用促進<br>・需要が高まっている稲WCSの需要量を把握し、計画的に生産拡大に繋げる必要<br>③広域流通の推進<br>・地域をまたいだ稲WCSの広域流通を円滑に推進し、需要に合わせた生産面積の拡大に繋げるため、耕畜連携協議会が行う取り組みを支援する必要<br>2 稲WCSの利用促進<br>・畜産農家の利用促進<br>・WCS給与技術の支援、飼料分析<br>※稲WCS作付面積<br>H30・228ha→R4・284ha<br>⇒飼料価格高騰による稲WCSの需要の高まり<br>③平野部と中山間地域でマッチング検討<br>・稲発酵粗飼料増産促進事業(R5～)<br>→生産拡大や広域流通に向けた取り組みへの支援                                                                                                                                 | 1 稲WCSの生産拡大<br>①稲WCSの生産拡大【R6～R9】<br>・畜産クラスター事業(国)やこうち農業確立総合支援事業等を活用した専用収穫機械等導入への支援<br>・稲発酵粗飼料増産促進事業による、耕畜連携協議会が行う取り組みを支援<br>→オペレーターへの育成支援(先進地での実証研修等)<br>→耕種農家が負担する収穫作業や機械運搬の経費負担の軽減<br>②稲WCSの利用促進【R6～R9】<br>・輸入粗飼料から国産粗飼料への転換を推進<br>→稲WCSの利用促進による飼料価格高騰等の影響を受けにくい畜産への構造転換<br>③広域流通の推進【R6～R9】<br>・稲発酵粗飼料増産促進事業による遠隔地への供給体制の確立支援<br>→東部地域、嶺北地域・南国市、樟原地域・四万十町でのローカル運搬経費の負担軽減                                                                                                                                                                                                                                        | ＜耕畜連携<br>協議会が<br>取り組む<br>WCS生産<br>量(ローラ<br>ー数)＞<br>5,032個<br>(R5)<br>↓<br>6,300個<br>(R9) |                          |

| 分野                     |  | 農業 |
|------------------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱           |  |    |
| 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |  |    |

| No. | 戦略目標                                                                                     | 出発点           | 直近値           | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                  | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                                                                                      |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     |                                                                                          |               |               |                   | 1 食肉センターの整備<br>①四万十市食肉センターの整備<br>・基本設計を実施(R5)<br>②養豚の生産基盤強化と生産性向上<br>・豚の出荷頭数<br>H26: 34,473頭→R5: 37,010頭                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 食肉センターの整備<br>①四万十市食肉センターの整備<br>・関係市町村との費用負担等の合意形成<br>可能な施設への建替整備<br>※今後の予定<br>ー実施設計【R7】<br>ー排水処理施設工事への着手【R8】(R9完成予定)<br>ー本体棟工事への着手【R9】(R10完成予定)<br>②養豚の生産基盤強化と生産性向上【R6～R9】<br>・畜産クラスター事業(国)等による施設整備や機械導入による生産性向上や省力化への支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 食肉センターの整備<br>①四万十市食肉センターの整備【R6～R9】<br>・関係市町村との費用負担等の合意形成に向けた協議【R6】<br>・受入体制の強化や高度な衛生管理が可能な施設への建替整備に対する支援<br>※今後の予定<br>ー実施設計【R7】<br>ー排水処理施設工事への着手【R8】(R9完成予定)<br>ー本体棟工事への着手【R9】(R10完成予定)<br>②養豚の生産基盤強化と生産性向上【R6～R9】<br>・畜産クラスター事業(国)等による施設整備や機械導入による生産性向上や省力化への支援 | ＜施設整備＞<br>備＞<br>基本設計<br>(R6)<br>↓<br>本体棟工<br>事への着<br>手(R9)<br>＜豚の出<br>荷頭数(年<br>間)＞<br>37,010頭<br>(R5)<br>↓<br>43,831頭<br>(R9) |
| 7   | 有機農業の取組面積(年間)<br>【モニタリング方法】<br>農業振興センターに有機JAS<br>面積を、市町村に環境直私<br>い取組面積をそれぞれ確認<br>し集計(年次) | 146ha<br>(R4) | 191ha<br>(R5) | 271ha<br>(R9)     | 1 有機農業の推進<br>①推進体制の構築<br>・有機農業指導員の育成:2名(R4)、5名<br>(R5)、20名(R6)<br>・県域協議会及び地域協議会の設置:21<br>市町村(R5)、7市町村(R6:新に設置)<br>②有機農業の啓発<br>・講演会、販促会の開催:出張支援:9回<br>(R4～R6)<br>③有機農業の実証、要望等の把握<br>・有機栽培土壌調査の実施:36圃場(R2)<br>・有機農業者へのアンケート調査の実施:<br>2回(R4)<br>・県民世論調査の実施:1回(R4)<br>・量販店調査の実施:6店舗(R5)<br>・有機農業者及び消費者へのアンケート調<br>査の実施:各1回(R6)<br>・学校給食での有機農産物活用意向調査<br>の実施:1回(R6)<br>④栽培技術の向上支援<br>・有機農業研修会、IPM等研修会の開催:1<br>回・55名(R4)、1回・46名(R5)、1回・8名<br>(R6)<br>・栽培技術実証ほの設置:11カ所(R6)<br>⑤産地活動への支援<br>・有機JAS認証取得支援:2経営体(R4)、2<br>経営体(R5)、4経営体(R6)<br>・有機農業産地づくり推進事業の活用:馬<br>路村(R5～R6)<br>・特産農産物販売拡大総合支援事業費補<br>助金の活用:2団体(R5)、2団体(R6)<br>⑥担い手の育成<br>・農業担い手育成センターでの基礎研修<br>の実施:対象者なし(R6)<br>・有機農家での実践研修の実施:なし(R6) | 1 有機農業の推進<br>①さらなる推進体制の強化<br>②肥培管理や病害虫防除等の栽培技術の<br>向上<br>③有機農産物の販路の開拓、拡大<br>④面積拡大に向けた新たな担い手の育成<br>2 栽培技術の向上【R6～R9】<br>・有機農業指導員等による栽培技術指導、有機栽培やIPM技術研修会の開催<br>・栽培技術実証ほの設置(自動印章ロボット、IPM技術、家畜ふん堆肥等)<br>・水稲での有機栽培ほの作成、ユズでの有機栽培の積極開(水稲とユズを戦略的品目として位置づけ)<br>・堆肥(家畜ふん・馬ふん)の利用拡大支援<br>・有機栽培技術の開発(ユズ、促成ピーマン、茶)<br>3 販路の開拓、拡大【R6～R9】<br>・オーガニックコーナーのある量販店や有機野菜を加工する業者とのマッチング支援<br>・ユズ(有機)に連する生産を含む)の産地拡大による輸出も含めた有利販売<br>・有機農家の組織化による量と品数の確保、商談会への出席支援<br>・消費者への理解促進、有機農産物のPR(オーガニックファエスタ等)<br>4 担い手の育成【R6～R9】<br>・農業担い手育成センターでの基礎研修の開催<br>・有機農家での実践研修の実施 | ＜新たな除<br>草技術導<br>入面積><br>-(R5)<br>↓<br>80ha (R9)                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                               |

| 分野                     |  | 農業 |
|------------------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱           |  |    |
| 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |  |    |

| No. | 戦略目標                                                               | 出発点                              | 直近値                               | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 課題                                                                                         | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 8   | 堆肥(家畜ふん・馬ふん)の<br>利用量(年間)<br>【モニタリング方法】<br>畜産施設課と競馬組合に確<br>認し集計(年次) | 32.25t<br>(家畜ふ<br>んR2、馬<br>ふんR5) | 29.063t<br>(家畜ふ<br>んR4、馬<br>ふんR5) | 36.114t<br>(R9)   | 1 堆肥の利用促進<br>・早期水稻における家畜ふん堆肥の運用<br>試験の実施(H16～)<br>・家畜ふんたい肥マップ・堆肥供給者リスト<br>の更新(R3)<br>・耕畜連携(稲WCS作付)の推進・稲WCS<br>作付面積284ha(R4)、321ha(R5)<br>・馬ふんの活用に向けた競馬組合、高知<br>市との協議:5回(R6)<br>・堆肥の利用推進資料の配付(R4)<br>・家畜ふん堆肥を利用した実証ほの設置:<br>4ヶ所(R5)、6ヶ所(R6)<br>・補助事業の新設によるペレット化機器の<br>導入支援:1台(R6)<br>・利用技術に関する試験研究の実施:3課<br>題(R6)<br>・耕種農家の優良活用事例の共有:<br>1事例<br>(R6) | 1 堆肥の利用促進<br>①推進体制の整備<br>②耕畜間の連携強化<br>③高品質堆肥の生産<br>④利用技術の確立<br>⑤散布労力の軽減                    | 1 堆肥の利用促進<br>①推進体制の整備(R6～R9)<br>・県協議会、地域協議会(市町村、JA、農振センター、家畜保健衛生所等)での取り組み協議<br>②耕畜間の連携強化(R6～R9)<br>・「家畜ふんたい肥マップ・堆肥供給者リスト」の更新<br>・堆肥利用(希望含む)農家の情報共有<br>・稲WCSの作付面積の拡大<br>③高品質堆肥の生産(R6～R9)<br>・良質な堆肥生産に向けた技術指導<br>・堆肥センターにおける家畜ふんペレット化機器の導入支援<br>・馬ふんの堆肥化施設の整備支援<br>④利用技術の確立(R6～R9)<br>・実証ほの設置(農振センター、担育センター)<br>・試験研究機関での技術開発(野菜・水稻・米等)<br>・耕種農家の優良活用事例の共有<br>⑤散布労力の軽減(R6～R9)<br>・堆肥散布機の導入支援<br>・袋詰めによる広域流通や利便性の向上に向けた支援                                                                                                                                                                                            | <散布労<br>力の軽減に<br>資する機器<br>の導入台<br>数><br>↑台(R5)<br>↓<br>12台(R9)    |
| 9   | —                                                                  | —                                | —                                 | —                 | 1 水田農業の振興<br>①主食用米の生産振興<br>・よさ惹美人の現地ほ場巡回、高品質生産<br>に向けた技術指導(現地検討会:1回<br>(R6))<br>・現地実証試験結果報告、栽培技術指導<br>(成績検討会:1回(R6))<br>②酒米の生産振興<br>・現地ほ場巡回、高品質生産に向けた技術<br>指導<br>土佐県現地検討会:1回(R6)<br>吟の夢現地検討会:1回(R6)<br>・品評会及び研修(1回(R6))                                                                                                                             | 1 水田農業の振興<br>①高温暖性品種「よさ惹美人」、「にごまる」の高<br>品質生産と作付拡大<br>②酒造好適米(「吟の夢」、新品種「土佐麗」)の高<br>品質生産と安定供給 | 1 水田農業の振興<br>①高温暖性品種「よさ惹美人」、「にごまる」の高品質生産と作付推進(R6～R9)<br>・生産者:肥培管理技術の改善等による高品質安定生産、販売促進活動などによるPR<br>・農業団体:作付拡大・「特A」獲得、販売促進の取り組み支援<br>・県農業技術センター:「よさ惹美人」の栽培技術の確立、県オリジナル高温暖性品種の育成<br>・県環境農業推進課、県農業振興センター:高温暖性品種の作付推進、栽培技術の改善への支援<br>②酒造好適米(「吟の夢」、「土佐麗」)の高品質生産と安定供給(R6～R9)<br>・生産者:高品質安定生産技術の導入と実践、新品種「土佐麗」の導入と生産拡大、酒米の産地化・組織化<br>【土佐酒振興プラットフォーム】<br>・農業団体:生産計画の策定、酒米の産地化への取り組み支援、酒造メーカーへの供給体制の整備<br>・高知県酒造組合:酒造メーカーからの要望数量の取りまとめ、土佐酒の販売促進活動の実施<br>・県農業技術センター:高品質安定生産技術の確立、好適米品種の育成・改良、生産者ごとの酒米の品質分析と情報提供<br>・県工業技術センター:生産者ごとの透過適性・醸造適性の分析と情報提供、酒造メーカーへの支援<br>・県環境農業推進課、県農業振興センター:高品質安定生産技術・新品種の普及推進、酒米生産者の組織化の取り組み支援 | <高温暖<br>性品種の<br>県内の生<br>産割合(年<br>間)><br>7.5%(R5)<br>↑<br>9.5%(R9) |

| 分野                     |                                                                | 各産業分野の取り組みの柱 |               |                   | 農業            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------|----------------------------------------------------------------|--------------|---------------|-------------------|---------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化 |                                                                |              |               |                   |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| No.                    | 戦略目標                                                           | 出発点          | 直近値           | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果  | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 10                     | 1経営体あたりの生産農業所得(付加価値額)(年間)<br>【モニタリング方法】<br>・農林水産省「農業生産所得統計」を確認 |              | 320万円<br>(R4) | 366万円<br>(R5)     | 390万円<br>(R9) | (再掲)1 IoTプロジェクトの推進<br>・データ連携基盤「IoTクラウドSAWACHI」の本格運用を開始(R4.9～)<br>・IoTクラウド利用農家数 (R7.3)<br>環境・画像データの利用農家数: 803戸<br>出荷・気象データの利用農家数: 1,603戸<br>データ収集農家数: 3,273戸<br>(再掲)2 データ駆動型農業による営農支援の強化<br>①データ駆動型農業を普及する指導体制の強化<br>・データ分析ができる指導員の育成: 89名 (R6)<br>・データ分析ができる指導員による営農支援者数: 2,028人 (R7.3)<br>②データ駆動型農業の実践支援<br>・現地実証等を活用した成功事例づくり(実証ほ等の設置: 6カ所 (R3～R6))<br>・データ分析結果を返すためのフィードバックシート作成数: 11画面(～R6)<br>・データ共有グループ数: 43グループ242名 (R7.3)<br>3 法人経営体への誘導と経営発展への支援<br>①法人経営体への誘導<br>・農業経営力向上セミナーの開催 R6: 33人(6回)<br>・法人化候補者のリスト化<br>②経営発展への支援<br>・農業経営・就農支援センターによる重点支援対象者への支援<br>重点支援対象者のうち法人化志向: 7経営体/31経営体 (R6) | (再掲)1 IoTプロジェクトの推進<br>・IoTクラウド利用農家数のさらなる拡大<br>・IoTクラウドのさらなる利便性の向上<br>・栽培・経営改善を支援するAIエンジンの開発<br>・主要7品目で特に平均収量以下の農家等ターゲットを絞って加入推進<br>・雨よけ・露地野菜、果樹、花きなどへの推進<br>(再掲)2 データ駆動型農業による営農支援の強化<br>①データ駆動型農業を普及する指導体制の強化<br>・データ分析ができる技術指導員の更なる育成<br>・多品目(施設野菜、露地野菜、果樹、花き)で指導ができる職員育成と若手の指導力向上<br>②データ駆動型農業の実践支援<br>・増収や経営改善につながる産地単位の成功事例づくりと他産地への模範開<br>3 法人経営体への誘導と経営発展への支援<br>①法人経営体への誘導<br>・経営課題が顕著とした経営相談者が多く、自ら経営の状況を把握することが必要<br>・雇用の形態は非正規が多く、法人化を志向する経営体が少ない<br>②経営発展への支援<br>・燃油・生産資材の高騰など厳しい経営環境が続く中、自ら農業経営の改善に向けて計画的に取り組み、農業者の育成が必要 |

| 分野           |                                                                      |     |     |                   | 農業                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|--------------|----------------------------------------------------------------------|-----|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 各産業分野の取り組みの柱 |                                                                      |     |     |                   | 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| No.          | 戦略目標                                                                 | 出発点 | 直近値 | 4年後<br>目標<br>(R9) | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                        | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 11           | 野菜主要1品目の反当収量<br>(年間)<br>【モニタリング方法】<br>・年次データは、農林水産省<br>「野菜生産出荷統計」を確認 |     |     |                   | <p>1. 高温に適応した栽培技術の開発と普及推進</p> <p>①野菜<br/>・灌水設備や遮光ネット等の導入費用が嵩価<br/>・高温対策として効果が期待できる機器・資材<br/>の導入や新たな技術の開発が進んでいない</p> <p>②水稲<br/>・高温対策技術の周知と高温耐性品種「よさ恋<br/>美人」、「こまる」の作付拡大</p> <p>③果樹<br/>・遮光ネットやスプリングラーの導入費用が高価<br/>・高温対策資材設置に手間がかかる<br/>・新高アンの単価が高いため、品種転換に踏み<br/>切れない</p> | <p>1. 高温に適応した栽培技術の開発と普及推進</p> <p>①野菜<br/>・施設園芸品目＞<br/>○新たな機器・資材等の実証【R7～R9】<br/>・実験場や遮光資材の実証と栽培技術の改善への支援(担い手育成センター、県農業振興センター)<br/>・試験場での熱を通さない赤外線カットフィルムや外張り資材の実証</p> <p>②水稲<br/>・露地園芸品目＞<br/>○事業を活用したかん水設備等の導入支援【R7～R9】<br/>・灌水設備設置等の推進</p> <p>③果樹<br/>○高温対策技術の周知と高温耐性品種「よさ恋美人」、「こまる」の作付拡大【R6～R9】<br/>・生産者・肥培管理技術の改善等による高品質安定生産、販売促進活動などによるPR<br/>・農産団体・作付推進、栽培技術指導、「特A」獲得・販売促進の取り組み支援<br/>・県農業技術センター、「よさ恋美人」の品種特性の周知、新たな県オリジナル高温耐性品種の育成<br/>・県環境農業推進課、県農業振興センター：高温耐性品種の作付推進、栽培技術の改善への支援</p> <p>⇒ 別図&lt;農05&gt;参照 (P25)</p> |
| 12           |                                                                      |     |     |                   | <p>1. 6次産業化の推進</p> <p>①新規事業者の掘り起こし<br/>・情報提供活動の充実<br/>・6次産業化により経営改善・発展に取り組む農<br/>業者の育成<br/>②売れる商品づくりや販路開拓等への総合的<br/>な支援の実施<br/>・6次産業化に取り組む農業者等の取り組み段<br/>階に合わせた継続的な支援体制の充実<br/>・マーケットを意識した商品開発や商品の磨き<br/>上げ<br/>・販路開拓に向けた営業力の強化</p>                                       | <p>1. 6次産業化の推進</p> <p>①新規事業者の掘り起こし【R6～R9】<br/>・サポートセンター設置による情報発信・相談対応、専門客派遣<br/>・6次産業化セミナーの開催による商品知識や技術の習得・向上支援</p> <p>②売れる商品づくりや販路開拓等への総合的な支援の実施【R6～R9】<br/>・サポートセンター専門客派遣による事業者の経営改善・発展に向けた戦略策定・実践支援<br/>・6次産業化セミナーの開催による事業計画の実現に向けた商品の磨き上げ支援<br/>・6次産業化支援チームによる専門家を活用した事業者のステップアップ支援<br/>・6次・直外協設置販売コーナーの効果的な運営による販路拡大支援<br/>・6次・直外協補助金による商品の磨き上げ支援</p>                                                                                                                                                                  |

| 農業                  |                                                                                                     |               |               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                    |
|---------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|---------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築 |                                                                                                     |               |               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                    |
| 分野                  |                                                                                                     |               |               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                    |
| 各産業分野の取り組みの柱        |                                                                                                     |               |               |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                    |
| No.                 | 戦略目標                                                                                                | 出発点           | 直近値           | 4年後目標 (R9)    | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                    |
| 1                   | 農地の受け皿となる法人数 (累計)<br>【モニタリング方法】<br>・年次データは、県「集落営農組織等登録センター」を確認<br>・四半期データは、農業振興センターからの活動報告により概算値を確認 | 53法人 (H21～R4) | 55法人 (H21～R6) | 65法人 (H21～R9) | 1 集落営農の推進<br>・集落営農に取組む、集落の掘り起こし R2: 10地区→R6: 27地区<br>・地域計画において集落営農に取り組みとする地区をリスト化<br>・組織化の意識醸成・合意形成<br>・組織化に向けた集落営農塾の開催<br>・組織化コース R2: 19回→R6: 72回<br>・集落営農組織数 H30: 224組織→R6: 214組織<br>うち法人数 H30: 28法人→R6: 42法人<br>・組織間連携の取り組み数 R2: 5 → R6: 11<br>・地域農業戦略数 R2: 5 → R6: 11<br>2 農地の受け皿となる法人の育成<br>・集落営農の法人化の推進と経営発展<br>・経営発展に向けた集落営農塾の開催<br>ステップアップコース R2: 10回→R6: 43回<br>法人化コース R2: 3回→R6: 19回<br>法人経営コース R2: 9回→R6: 32回                                                                                                                                               | 1 集落営農の推進<br>・目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する「地域計画」の実現に向けた地域での話し合いの場を活用し、集落営農の取り組みを周知【R6～R9】<br>・整備されたリストを元に、意欲の高い地区から優先的に支援対象地区を選定【R7～R9】<br>・選定した地区を対象に法人化を視野に入れた組織化や、組織の法人化に向けた合意形成支援【R6～R9】<br>・設立組織の経営安定と法人化に向けた農業用機械・施設の整備や、雇用の確保への支援、高収益作物の導入等に向けた支援を強化【R6～R7】<br>・組織間連携を推進し、省力化・効率化につながる機械の導入や労働力の確保等を図り、経営面積の拡大など継続的な発展のための体制を確立を支援【R6～R7】<br>・組織間連携の体制づくりに向けた研修会を開催等により取り組みを啓発し、連携による体制づくり検討する協議会の立ち上げを支援【R6～R9】<br>2 農地の受け皿となる法人の育成<br>・地域計画において集落営農組織の法人化に取り組みようとする組織をリスト化【R6～R7】<br>・地域計画に基づく経営規模の拡大を支援し、法人化に向けた合意形成を支援【R6～R9】<br>・集落営農組織の育成が進まない地域においては、農地の出し手のニーズにより、集積が見込まれる経営体の法人化を推進し地域内の農地を担う法人経営体を育成【R6～R9】<br>・経営の維持・拡大に向けた農業用機械・施設の整備や、デジタル技術の活用、オペレーター等の確保に向けた支援を継続【R6～R9】<br>・研修会の開催など農地の受け皿となる法人が集まる交流の場をつくることで、規模拡大に向けた省力化事例などの情報交換を促進【R6～R9】 | 主なるアウトプット目標 (KPI)<br>＜集落営農塾(法人化コース)の開催回数＞<br>4回 (R6) ↓<br>15回 (R9) |
| 2                   | スマート農業の実装面積 (シヨウガでのドローン防除面積) (年間)<br>【モニタリング方法】<br>・環境農業推進課へ提出される防除実績を集計 (年次)                       | 1.8ha (R4)    | 52ha (R6)     | 150ha (R9)    | 1 スマート農業の実証と実装支援<br>①スマート農業技術の実証支援<br>・実証の実証: 3地区 (R元)、3地区 (R2)、2地区 (R3)、2地区 (R4)<br>②スマート農業技術の周知<br>・実証会、セミナー等の開催: 13回 (R2)、20回 (R3)、19回 (R4)、25回 (R5)、20回 (R6)<br>③スマート農業技術の導入支援<br>・補助事業による地域への防除用ドローン導入支援: 6機 (R2)、5機 (R3)、5機 (R4)、7機 (R5)、10機 (R6)<br>④ドローン防除拡大への環境整備<br>・農業の適用拡大試験の実施: 15回 (R2)、2回 (R3)、4回 (R4)<br>・農業の適用拡大: 15回 (R3～5、シヨウガ13回、オクラ2回)<br>・出先機関への防除用ドローンの導入: 3機 (R2)<br>・普及員等の操作技術の習得: 22名 (R2)、2名 (R3)、2名 (R4)、2名 (R5)、1名 (R6)<br>⑤ドローン防除の実施面積: 506ha (R2)、1,064ha (R3)、1,325ha (R4)、うちシヨウガ1.8ha、1,345ha (R5、うちシヨウガ40ha)、2,277ha (R6、うちシヨウガ52ha) | 1 スマート農業の実証と実装支援<br>①スマート農業技術の周知【R6～R9】<br>・普及指導員による実証・実証会やセミナー等の開催による理解・認知度の向上<br>・普及指導員による農業支援サービス事業者とのマッチング推進<br>②スマート農業技術の導入支援【R6～R9】<br>・補助事業の拡充(農業支援サービス事業者を対象に追加)による防除用ドローンの導入拡大<br>③ドローン防除拡大に向けた環境整備<br>・ドローン防除体系を組み込んだシヨウガ防除歴の検討【R6～R7】<br>・新規導入農家への各種申請に対する支援【R6～R9】<br>・防除作業を受託する農業支援サービス事業者への登録支援【R6～R9】<br>・実証の拡充のための操作技術を獲得した新たな普及指導員の育成 (若手名)【R6～R9】<br>・出先機関に導入した実証に用いる防除用ドローンの更新【R9】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | ＜育成する農業支援サービス事業者数＞<br>(R5) ↓<br>5事業者 (R9)                          |

|              |    |    |            |
|--------------|----|----|------------|
| 各産業分野の取り組みの柱 | 分野 | 農業 | 流通・販売の支援強化 |
|--------------|----|----|------------|

| No. | 戦略目標                                                    | 出発点                      | 直近値                       | 4年後<br>目標<br>(R9)              | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                                                                   |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 市場流通を中心としたJA販売額(年間)<br>【モニタリング方法】<br>JA豊知恵の市場取扱額から月次で確認 | 39億円<br>(R4.4～<br>R5.3)  | 47億円<br>(R5.4～<br>R6.3)   | 65億円<br>(R9)<br>※R9.9～<br>R6.8 | 1 卸売市場と連携した販売拡大<br>①卸売市場と連携した販売拡大<br>②地域別戦略の策定(全国6地域)→<br>③卸売市場への委託 R1:6社→R2～R5:<br>11社(上記地域)→ R6より関東・関西のみ)R6:19社<br>・重販店フェアの開催 R1:461回→R4:<br>3943回→R6:7073回→関東・関西6地域:<br>東2139回、関西309回<br>・KPI:JA販売額(関東+関西)R6:280億円(※国・国営年度R5年9月～R6年8月)<br>(参考:R6国:271億円)<br>(2) マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大<br>①デジタルを活用した販促PR(R2～)<br>・オンラインセミナーや動画による品目・産地PR<br>②品目の機能性に着目したPR(R3～)<br>・機能性表示食品「高知なす」の販促PR<br>・健康宅配冷凍食品としての商品化<br>・栄養表示シール、非辛みシシトウの生産・販売体制の整備<br>③中食・外食・冷凍食品をターゲットにした戦略の策定・実行<br>・品目別業務傾向分析・R6:10品目<br>・生産者向け講演会・R6:2回<br>④マーケットの要望に応じた弾力的な出荷形態等の検討<br>・シシトウの袋包装の検討(R6～) | 1 卸売市場と連携した販売拡大<br>(1) 卸売市場等と連携した販売拡大<br>・高温による出荷量減で単価高となり、販売額は高く推移。一方、出荷量が少ないことからフェアを組みつくなければ、取引量を確保する取り組みの強化が必要<br>(2) マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大<br>・重点品目の戦略の実行と業務需要に対応できる産地づくり<br>・業務用ニーズに合わせた規格、品質の検証と新たな品目のニーズの把握                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 1 卸売市場と連携した販売拡大【R6～R9】<br>①地域全体の販売額の増加<br>②地域全体の取引額(関西全域)への委託【R6～R9】<br>③継続した取引につなげる売り場確保を目標とした量販店フェアの実施<br>(年間)→<br>A販売額<br>271億円<br>(R9)<br>↓<br>306億円<br>(R9)<br>※国営年度<br>※国営年度<br>④将来にわたる安定出荷に向けた産地のまとりの強化 (JA取扱量のアップ)<br>・万博や「あんばん」開催に合わせた果産・青果物の認知度向上【R7】<br>・JA産地総品検定への支援【R8～R9】<br>(2) マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大【R6～R9】<br>①中食・外食・冷凍食品をターゲットにした戦略の策定・実行<br>・品目別の傾向分析、分析に基づいた生産者向け講演会【R6～】<br>・業務需要取引の拡大が買込める品目と産地を導き、新たな出荷形態による販売や増量期における業務加工用への増量強化を実施【R7～R9】<br>②マーケットの要望に応じた弾力的な出荷形態等の検討<br>・業務需要に応じた規格、品質、収量などの栽培検証【R7～】<br>⇒ 別図<農03>参照 (P23) | <市場流通<br>を中心とし<br>た関西のJA<br>販売額><br>A販売額<br>(年間)→<br>271億円<br>(R9)<br>↓<br>306億円<br>(R9)<br>※国営年度<br>※国営年度 |
| 2   | 直接取引等多様な流通による外商額(年間)<br>【モニタリング方法】<br>とさのさとへの聞き取り       | 4.7億円<br>(R5.4～<br>R6.3) | 6.5億円<br>(R9.4～<br>R10.3) | 6.5億円<br>(R9.4～<br>R10.3)      | 1「とさのさと」を活用した果産農産物の地産外商の強化<br>(1)「とさのさと」を活用した外商拡大<br>①店舗内外客の客数誘致<br>・高速道路マツダ、旅行者を対象としたフリー雑誌などへの広告やQRコードの掲載により誘客<br>②ギフト・カタログ販売の実施(主な情報発信地域:関西・中国・四国)<br>③ギフト・カタログ販売の強化<br>・お中元、お歳暮に対応したカタログ制作と顧客への発送<br>④ギフト・カタログ客ニーズに合わせたカタログの制作と発送<br>・果実入や包帯連携協定企業などでの顧客開拓<br>・産地への直接交渉によるシーズンに応じた青果物の確保<br>③県外ファーマーズマーケット(以下FMという)との連携強化<br>【成果】連携FM R437か所→R545か所<br>・県外FMでの店頭販売やとさのさとへの招聘による連携強化と双方の特産品の取引の拡大<br>(2)WEB販売サイトの販売強化<br>【成果】登録会員数 R44,139人→R56,016人<br>・掲載商品の顧客ニーズに合わせた充実・Web広告、送料負担キャンペーンによる会員登録数増加                                                                     | 1「とさのさと」を活用した果産農産物の地産外商の強化<br>(1)「とさのさと」を活用した外商拡大<br>①店舗内外客への販売額向上【R6～R9】<br>・果実などの高単価商品の増加や贈答向け商品の充実に向けた生産者への働きかけ<br>・県外客にアピールできる(特徴のある高知果産品:土佐文旦、水晶文旦、フルーティマドなど) 商品の充実<br>②県外客確保に向けた関西圏を中心とする観光客を対象とした旅行権証等でのPR<br>③ギフト・カタログ販売の強化【R6～R9】<br>・ギフト・カタログ販売の強化【R6～R9】<br>・イベントや「とさのさと」でのPRによる顧客開拓<br>・県内産地との連携強化による高品質な商品の確保<br>③県外ファーマーズマーケットとの連携強化【R6～R9】<br>・新たな提携先FMとの連携<br>・提携FMとの関係強化<br>出張販売の継続<br>提携FMへの高知果の商品の継続した販売<br>提携ファーマーズの特色ある商品(果実など)の仕入販売<br>④食肉の外商強化【R7～R9】<br>・外商拡大に向けた土佐あかうし、土佐黒牛などの食肉の販売強化<br>(2)WEB販売サイトの販売強化【R6～R9】<br>・会員登録のためのイベント(送料負担キャンペーンなど)の開催<br>・JAのホームページとのイベント連携や、メディアで県産品が取り上げられるタイミングなどでのタイムリーな情報発信と関連する商品の品揃え<br>・県外イベントやWEBでのPR活動の継続 | <県外<br>ファーマー<br>ズマーケッ<br>トへの販売<br>額(年間)><br>R4(実績):38<br>百万円→<br>R9(目標):70<br>百万円                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                            |

| 分野           |  | 農業         |  |
|--------------|--|------------|--|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  | 流通・販売の支援強化 |  |

| No. | 戦略目標                                                                                                                                                                         | 出発点                      | 直近値                       | 4年後<br>目標<br>(R9)        | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                 | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3   | 農畜産物の輸出額(年間)<br><br>【モニタリング方法】<br>・高知県園芸品販売拡大協<br>議会から輸出拡大委託業務<br>の輸出額を定期的報告により<br>確認<br>・野菜・花きについて主要な<br>市場等への聞き取りにより調<br>査<br><br>・ユズについては高知県貿易<br>実態調査(毎年7月調査、9月<br>中旬公表) | 8.8億円<br>(R4.4～<br>R5.3) | 10.1億円<br>(R5.4～<br>R6.3) | 10億円<br>(R9.4～<br>R10.3) | 1 品目別輸出戦略に基づいた需要・販路<br>拡大<br>①農畜産物の認知度向上及び輸出拡大<br>【委託事業を通じて取り組み】<br>・国内商談会(R6:3者、商談14件)<br>・シンガポールでの商談会開催(R5:2者、商<br>談12件→R6:2者、商談10件)<br>(花き)<br>・米国に強い卸売市場へ委託<br>・年間輸出額、R5: 3,431万円→R6: 3,934万<br>円)<br>【(果実・野菜)】<br>・卸売市場へ委託(シンガポール等現地<br>販での県フェア開催 R4: 33店→R5: 42店→<br>R6: 43店)<br>・シンガポール企業への委託による現地<br>シェフ 輸出業者を本県園芸産地等に招へ<br>い、商談(R6.9月、4名)<br>・シンガポールで県単独商談会開催(R6.青<br>果物、加工品3者出席、商談6件)<br>・シンガポール以外の国への輸出可能性委<br>託調査(タイ、マレーシアをターゲット国に選<br>定)<br><br>【畜産物】<br>・食肉処理施設のタイ輸出認定の取得(R6)<br>・タイでの土佐あかうしプロモーション<br>(R6.11月)<br><br>【チャレンジ国】<br>・農産水産物賞味会との連携(R6.インド2<br>回、茶、ユズ加工品を紹介)<br>・日本青果物輸出促進協議会(以下、品目<br>団体という)の事業活用(1回、マレーシアで<br>の試食会、Web商談: みようが、しようが、な<br>す)<br><br>2 輸出に意欲的な産地への支援強化<br>①農林水産物・食品輸出促進団体への加<br>入による活動強化<br>・品目団体へ加入(R6.6月)<br>・(再掲)品目団体の事業活用(1回、マレーシ<br>アでの試食会、Web商談: みようが、しようが、<br>なす)<br>②高知県農産物輸出促進事業費補助金活<br>用による支援(申請件数R5: 5件→R6: 4件)<br>③生産拡大に向けた取り組みへの支援<br>・農産物輸出拡大PTT(JA、生産者、県)で輸<br>出情報の共有とユズ等の生産拡大啓発(2<br>回)<br>・ユズの有機的栽培面積拡大への支援(有<br>機質肥料施用実証ほこ棚の活用)<br>・果樹経営支援対策事業を活用し新植を推<br>進<br>(R4: 59,228㎡→R5: 77,461㎡)<br>・香南市において隣地ミカン園地整備(R6年<br>測量、92a) | 1 品目別輸出戦略に基づいた需要・販路拡大<br>2 輸出に意欲的な産地への支援強化<br>【農産物】<br>・欧米は安全基準のハードルが高い<br>・ユズは世界的に需要が高まっており、ニーズ<br>に応え切れしていない<br>・意欲的に輸出に取り組もうとする産地が限ら<br>れている<br>・市場や消費ニーズ、成功事例の情報を十分に<br>収集できていない<br><br>【畜産物】<br>・輸出先での販路開拓には有望な現地パート<br>ナー(食肉輸入業者)が必要<br><br>⇒ 別図<農04>参照(P24) | 1 品目別輸出戦略に基づいた需要・販路拡大(R6～R9)<br>①農畜産物の認知度向上及び輸出拡大<br>【委託事業を通じて取り組み】<br>(ユズ・果実・・・東南アジア)<br>・高知県フェアや展示商談会など加工品の消費PRによる需要喚起と取引の拡大(企業への委託)<br>・(花き・・・中国、米国中心)<br>・花きには中国市場に加えて米国等を対象に、グロリアサを主として、その他品目の需要の有無を確認しながら輸出拡大(卸売市<br>場への委託)<br>(果実・・・東南アジア)<br>・量販店等のハイヤー(サプライヤー)を産地へ招へいし、産地との繋がり強化することで高知県フェアなどの取り組みを強化<br>(卸売市場への委託)<br>・シンガポール以外の国(R7/タイ、マレーシア)での販路開拓へテストマーケティング、商談会開催などアプローチを強化(企業への<br>委託)<br>・シンガポールにおいて、農畜産物の食べ方指導等認知度向上に向けた取り組みの推進(企業への委託)<br>・シンガポール、香港を中心に東南アジアへの販路確保・拡大(卸売市場への委託)<br><br>【畜産物】<br>・土佐和牛ブランド推進協議会によるタイでのプロモーションや見本市等への出展支援【R7】<br>・食肉処理施設のベトナム輸出認定の取得<br><br>【チャレンジ国】<br>・水産物等と連携したPRによる販路の開拓<br>・品目団体の事業を積極的に活用することで販路の開拓<br><br>2 輸出に意欲的な産地への支援強化【R6～R9】<br>①農林水産物・食品輸出促進団体への加入による活動強化<br>・(再掲)品目団体の事業を積極的に活用することで販路の開拓<br>②高知県農産物輸出促進事業費補助金活用により支援<br>・海外における認知度向上や展示商談会出展による需要拡大への支援、また輸出相手国の農業残留基準や植物検疫、衛生基<br>準に対応した生産への支援<br>③生産拡大に向けた取り組みへの支援<br>・ユズの有機的栽培面積拡大に向けた支援(有機質肥料施肥技術及び増量的な除害技術等の実証結果を生かした有機的栽培<br>への移行支援)<br>・輸出への意識高揚に向けた取り組みの強化(セミナー開催等)<br><br>⇒ 別図<農04>参照(P24) | ＜ユズ(果<br>実・青果・皮<br>の輸出額<br>(年間)＞<br>8.1億円<br>(R5)<br>↓<br>7.2億円<br>(R9)<br><br>(参考)<br>ユズ輸出額<br>R3: 4.3億円<br>R4: 7.5億<br>円<br><br>注) R4年は<br>前年を基分<br>の販売額3<br>億円が含ま<br>れる特殊年<br><br>注) R6年の<br>ユズは豊作<br>年で前年の<br>約1.6倍の<br>生産量とな<br>り輸出額が<br>大きく伸び<br>た特殊年 |

| 分野           |  |
|--------------|--|
| 農業           |  |
| 多様な担い手の確保・育成 |  |

| No. | 戦略目標                                                                                                          | 出発点          | 直近値          | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 取り組み内容<br>(R6～R9)                           | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI) |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------|
| 1   | 新規就農者数(年間)<br>【モニタリング方法】<br>・各農業振興センター単位で<br>新規就農者調査(期間4月～<br>5月、集計6月～7月)を実施<br>し、7月末を目処に前年度に<br>おける新規就農者数を確認 | 214人<br>(R4) | 215人<br>(R6) | 320人<br>(R9)      | 1 産地提案型による自営就農者への就業支援の強化<br>①親元就農者への就業支援の強化<br>・国の支援策の対象とならない親元就農者への資金助成制度の創設<br>・親元就業支援策のPR<br>・主要品目の後継者候補がいる農家及び後継者候補へのpush型アプローチ<br>対象:9品目305人リストアップ(R5)<br>②新規参入<br>・若者・女性就農者等のロールモデル事例の収集と発信<br>・農業者自らが農業の魅力を発信・拡散するSNSキャンペーン(＃こうち農come on!プロジェクト)の実施<br>・いきいきと活躍する農業者と交流する農業体験ツアー(R6)<br>プレイイベント:29人<br>体験ツアー:14人<br>・就業イベント開催等による新たな層へのアプローチ及び参加者の継続したつなぎめ<br>・移住・漁業・林業と連携した一次産業フェアの開催(大畠)<br>・農業経営・就業支援センターによる相談活動(社会人のライフスタイルに合わせた出張相談の開催等)<br>・就業コンシェルジュによる就業相談者等へのきめ細やかなフォローの実施<br>関係機関(UTターンコンシェルジュ・市町村等)との連携強化<br>・産地提案書の情報更新と有効活用による受入体制の強化<br>・農業体験(アグリ体験合宿・オーダーメイド型農業体験)の実施<br>新規就農者数<br>R元:261人→R2:217人→R5:215人<br>相談者数(農業経営・就業支援センター)<br>R元:200人→R2:186人<br>→R5:230人→R6:289人 | 1 産地提案型による自営就農者への就業支援の強化<br>①親元就農者への就業支援の強化(R6～R9)<br>・後継者候補及び親世代への就業支援の強化<br>・就業研修から就業直後の経営確立までの就業支援の強化<br>・親世代及び後継者に支援策の周知を図り、就業への話し合いを促進<br>②新規参入者への就業支援の強化(R6～R9)<br>・若者・女性等のロールモデル事例(自営)の収集と情報発信(HP、パンフレット作成等)<br>・SNS(Instagram)による本県農業の魅力を発信と、統一ハッシュタグ(＃＃)による情報の拡散<br>・本県農業の魅力を伝え、農業を職業としてイメージアップさせる体験やセミナーの実施<br>・潜在層に向けた認知創出農業プロモーション動画の配信(R7)<br>・デジタルマーケティングを活用し、就業相談等への誘導(R7)<br>・オンライン就業セミナーの開催(R7)<br>・農業経営・就業支援センターによる相談活動の強化(社会人のライフスタイルに合わせた出張相談の実施)<br>・就業コンシェルジュによる就業相談者やイベント参加者へのきめ細やかなフォローの継続的な実施<br>・産地提案書の情報更新と有効活用による受入体制の強化<br>・若年層(34歳以下)の就業前研修中の費用負担を軽減する支援の強化<br>・トレーニングハウスでの研修修習による就業研修の強化<br>・市町村で新規就農者向け中古ハウスを確保する取り組み支援<br>⇒ 別図<農02>参照(P22) | <就業相談者数(年間)><br>> 230人(R5)<br>↓<br>300人(R9) |                          |

| 分野           |  | 農業 |
|--------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  |    |
| 多様な担い手の確保・育成 |  |    |

| No. | 戦略目標                     | 出発点 | 直近値 | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                             |
|-----|--------------------------|-----|-----|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 2   | うち女性新規就農者数(年間)           |     |     |                   | 1 農業の職業としての認知度や魅力度の向上<br>(再掲)・若者・女性就農者等のロールモデル事例の収集と情報発信(HP、パンフレット作成等)<br>(再掲)・SNS(Instagram)による本県農業の魅力を発信し、統一ハッシュタグ(「#」)による情報の拡散<br>(再掲)・農業者自ら農業の魅力発信を促すSNSキャンペーン(「#うちから農業 come on!」プロジェクト)の実施<br>(再掲)・いざいきと活躍する農業者と交流する農業体験ツアー(R6)<br>体験ツアー：女性12人/29人<br>男性8人/14人<br>2 若者・女性向け農業体験・研修の強化<br>(再掲)・いざいきと活躍する農業者と交流する農業体験ツアーや産地訪問の開催<br>・女性向け農業体験(アグリ体験合宿)及び農業機械研修の実施<br>アグリ体験合宿：2人(R6)<br>農業機械研修：2人(R6)<br>・中高生への出前授業や職業体験のメニュー一覧を教育委員会、学校へ配布し実施を呼びかけ<br>・大学生のインターンシップ受入<br>農業担い手育成センター：2人(R6)<br>女性の新規就農者数<br>R元：52人(20%)→R2：51人(24%)<br>→R5：47人(22%)<br>うち若年者数(34歳以下)<br>R元：26人(10%)→R2：21人(10%)<br>→R5：24人(11%)<br>※( )は新規就農者における割合<br>女性の相談者数(農業経営・就業支援センター)<br>R元：47人(24%)→R2：39人(22%)<br>→R5：75人(33%)<br>※( )は相談者数における割合 | 1 農業の職業としての認知度や魅力度の向上<br>・女性・若者・女性等のロールモデル事例(自営・雇用)の収集と情報発信(HP、パンフレット作成等)<br>(再掲)・SNS(Instagram)による本県農業の魅力を発信し、統一ハッシュタグ(「#」)による情報の拡散<br>(再掲)・本県農業の魅力を伝える、農業を職業としてイメージアップさせる体験やセミナーの実施<br>(再掲)・滞在層に向けた高知県農業プロモーション動画の配信【R7】<br>2 若者・女性向け農業体験・研修の強化【R6～R9】<br>・就業に向けた女性向け農業体験や研修会の実施<br>・中高生への出前授業や職業体験の実施<br>・大学生のインターンシップ受入の拡大<br>3 雇用就農者の確保に向けた支援の強化【R7～R9】<br>・未経験者でも農業にチャレンジできるようお試し期間を設け就業へのハードルを下げるトライアル就業制度の導入<br>・進路指導教員等を対象とした農業職場の見学会の実施<br>・一次産業等の合同企業説明会の開催<br>⇒ 別図<農02>参照(P22) | <女性就農相談者数(年間)><br>75人(R5)<br>↓<br>100人(R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                      |
| 3   | うち若年(15～34歳)女性新規就農者数(年間) |     |     |                   | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>・農業経営・就業支援センターによる求人求職者情報の紹介<br>・雇用就業支援策(国)の推進<br>・雇用就業相談会の開催<br>・ポータルサイト求人ページの開設<br>雇用就農者数<br>R元：87人→R2：84人→R5：63人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>・農業は県内の若者や女性に就職先として選ばれていない<br>・農業や農業法人の魅力を知らせる機会が少なく<br>・雇用就農後のキャリアアップ(雇用者→経営者)がイメージしづらい<br>2 若者・女性向け農業体験・研修の強化<br>・女性向け研修会等は、募集・開催方法等を工夫することや、PRの強化が必要                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>①求人情報の収集と提供の強化【R6～R9】<br>②農業職場を知ってもらう取り組みの推進<br>(再掲)・滞在層に向けた高知県農業プロモーション動画の配信【R7～R9】<br>(再掲)・進路指導教員等を対象とした農業職場の見学会の実施【R7～R9】<br>(再掲)・若者・女性等のロールモデル事例(雇用)の収集と情報発信(HP、パンフレット作成等)【R6～R9】<br>③企業の魅力を知ってもらう機会の創出【R7～R9】<br>④企業・一次産業等の合同企業説明会の開催<br>・法人を対象とした自社の魅力をアピール力を向上させるための研修会の開催<br>(再掲)・未経験者でも農業にチャレンジできるようお試し期間を設け就業へのハードルを下げるトライアル就業制度の導入<br>④農業分野におけるキャリアアップを支援【R6～R9】<br>・雇用就農から独立自営就農(キャリアアップ)し、農業経営者をめざす者の確保と育成(県版地域おこし協力隊募集の拡大)<br>⇒ 別図<農02>参照(P22) | <トライアル就業制度活用による雇用就農者数(年間)><br>- (R5)<br>↓<br>20人(R9) |
| 4   | うち雇用就農者数(年間)             |     |     |                   | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>・農業経営・就業支援センターによる求人求職者情報の紹介<br>・雇用就業支援策(国)の推進<br>・雇用就業相談会の開催<br>・ポータルサイト求人ページの開設<br>雇用就農者数<br>R元：87人→R2：84人→R5：63人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>・農業は県内の若者や女性に就職先として選ばれていない<br>・農業や農業法人の魅力を知らせる機会が少なく<br>・雇用就農後のキャリアアップ(雇用者→経営者)がイメージしづらい<br>2 若者・女性向け農業体験・研修の強化<br>・女性向け研修会等は、募集・開催方法等を工夫することや、PRの強化が必要                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 1 雇用就農者の確保に向けた支援の強化<br>①求人情報の収集と提供の強化【R6～R9】<br>②農業職場を知ってもらう取り組みの推進<br>(再掲)・滞在層に向けた高知県農業プロモーション動画の配信【R7～R9】<br>(再掲)・進路指導教員等を対象とした農業職場の見学会の実施【R7～R9】<br>(再掲)・若者・女性等のロールモデル事例(雇用)の収集と情報発信(HP、パンフレット作成等)【R6～R9】<br>③企業の魅力を知ってもらう機会の創出【R7～R9】<br>④企業・一次産業等の合同企業説明会の開催<br>・法人を対象とした自社の魅力をアピール力を向上させるための研修会の開催<br>(再掲)・未経験者でも農業にチャレンジできるようお試し期間を設け就業へのハードルを下げるトライアル就業制度の導入<br>④農業分野におけるキャリアアップを支援【R6～R9】<br>・雇用就農から独立自営就農(キャリアアップ)し、農業経営者をめざす者の確保と育成(県版地域おこし協力隊募集の拡大)<br>⇒ 別図<農02>参照(P22) | <トライアル就業制度活用による雇用就農者数(年間)><br>- (R5)<br>↓<br>20人(R9) |

| 分野           |  | 農業 |
|--------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  |    |
| 多様な担い手の確保・育成 |  |    |

| No. | 戦略目標                                                               | 出発点            | 直近値            | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                    | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI) |
|-----|--------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------|
| 5   | 認定農業者（新規認定者数）<br>（年間）<br>【モニタリング方法】<br>各市町村へ3月末時点の認定状況を調査（4月）し把握する | 121経営体<br>(R4) | 167経営体<br>(R5) | 150経営体<br>(R9)    | 1 認定農業者の育成支援<br>①対象者の掘り起こし<br>・経営改善志向農家への制度の周知等により認定農業者に誘導<br>・地域計画に位置付く者のうち基本構想水準到達者や規模拡大予定の者をリスト化し、さらに認定農業者に誘導していく経営体をピックアップ<br>・農業経営力向上セミナーの開催<br>R6: 33人（6回）<br>②経営改善計画の作成支援及び実現への支援<br>・新採就農者の中には、栽培技術に精通が向いてコスト管理がおろそかになる傾向がある<br>・認定農業者から認定農業者への経営発展に向けた切れ目のない支援強化が必要<br>・生産コストが増加し収益性が上がらない経営体が多いなか、経営改善の必要性を認識させ、改善の取り組みへと誘導することが必要<br>・重点支援対象者: 31経営体（R6） | 1 認定農業者の育成支援<br>①認定農業者候補の掘り起こし【R6～R9】<br>・地域計画の策定を通じて候補者の明確化【R6】<br>・経営規模の拡大を志向する新採就農者や法人化を志向する経営体など、経営発展を目指す候補者のリスト化【R6】<br>・ピックアップした認定農業者候補者に対して、経営改善に取り組む意識やメリット等を説明し誘導【R7～R9】<br>・認定農業者候補者リストの毎年度更新【R7～R9】<br>②経営改善計画の作成及び実践支援【R6～R9】<br>・認定農業者候補（認定新採就農者等）を対象とした経営診断の実施と経営改善計画の作成支援【R6～R9】<br>・認定農業者組織による経営改善等に向けた研修会の実施【R6～R9】<br>・経営改善の実践に向けたフォローアップ【R6～R9】 | ＜認定農業者を志向する経営体の（年間）＞<br>10経営体（R6）<br>↓<br>20経営体（R9）  |                          |
| 6   | 新規農業法人数（年間）<br>【モニタリング方法】<br>各市町村へ12月末、3月末時点の農業法人数を調査し把握する         | 7法人<br>(R4)    | 10法人<br>(R5)   | 16法人<br>(R9)      | (再掲)1 法人経営体への誘導と経営発展への支援<br>①法人経営体への誘導<br>・経営課題が深刻化した経営相談者が多く、自ら経営の状況を把握することが必要<br>・雇用の形態は非正規が多く、法人化を志向する経営体が少ない<br>②経営発展への支援<br>・農業経営・就農支援センターによる重点支援対象者への支援<br>・燃料・生産資材の高騰など厳しい経営環境が継続中、自ら農業経営の改善に向けて計画的に取り組む農業者の育成が必要                                                                                                                                            | (再掲)1 法人経営体への誘導と経営発展への支援<br>①法人経営体への誘導【R6～R9】<br>・法人化に取り組む農業者の掘り起こし【R6～R9】<br>・資金繰り表の作成を通じて、経営改善への意識付けや規模拡大等に向けた検討を支援【R6～R9】<br>・法人化候補者に対して、法人化を検討するための重点支援対象者への誘導【R7～R9】<br>・法人化候補者リストの毎年度更新【R7～R9】<br>②経営発展への支援【R6～R9】<br>・農業経営・就農支援センターの支援内容の周知と重点支援対象者の掘り起こしの強化<br>・重点支援対象者への専門家派遣等による経営改善支援                                                                   | ＜法人化を志向する重点支援対象者数（年間）＞<br>7経営体（R5）<br>↓<br>16経営体（R9） |                          |

| 分野           |  | 農業 |
|--------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  |    |
| 多様な担い手の確保・育成 |  |    |

| No. | 戦略目標 | 出発点 | 直近値 | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 課題                                                                                                                                                                                                                                                              | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                        |
|-----|------|-----|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 7   |      |     |     |                   | <p>1 労働力の確保</p> <p>○JA無料職業紹介所の体制強化による労働力の掘り起こしとマッチング促進</p> <p>・職業紹介事業専任者の配置:1名 (R2～)</p> <p>・地域無料職業紹介所の設置促進 (R2～)</p> <p>12か所 (R2) → 13か所 (R5)</p> <p>・地域間の労働力循環の仕組みづくり (R2～)</p> <p>養野出荷場や種苗センター、シヨウガ収穫出荷場や山田、香我美出荷場、安芸出荷場や香我美出荷場</p> <p>18名 (R2) → 18名 (R3) → 18名 (R4) → 18名 (R5) → 27名 (R6)</p> <p>・SNSでの募集等による若農者の確保 (R2～)</p> <p>サイト「あぐりマッチこうち」開設 (R2)</p> <p>四万十町シヨウガ: 81名 (R2～R6)</p> <p>・コロナ禍における農業種・大学生との連携 (R4)</p> <p>旅行業:ユズ・ボンカンの収穫:46名</p> <p>大学生:ユズの収穫:20名</p> <p>○求人登録数とマッチング数 (第3回半期末の数値)</p> <p>求人登録:275件 (R5元) → 292件 (R2)</p> <p>→ 236件 (R3) → 247件 (R4) → 224件 (R5) → 215件 (R6)</p> <p>マッチング:265件 (R5元) → 284件 (R2)</p> <p>→ 337件 (R3) → 313件 (R4) → 313件 (R5) → 347件 (R6)</p> <p>○農福連携の推進</p> <p>・地域協議会の設立:12組織 (R5累計)</p> <p>・県域協議会の設立 (R3)</p> <p>・農家等に対する研修会の開催</p> <p>16回 (R2～5)</p> <p>・障害者等に対する農作業体験会の開催</p> <p>59回:延べ498名 (R2～R6)</p> <p>・就労定着サポーターによる定着支援 (R3～)</p> <p>R3:7戸・22回、R4:5戸・25回、R5:12戸・30回、R6:14戸・27回</p> <p>○農家・JA出荷場で就労する障害者等</p> <p>農家:191名/50戸 (H30)</p> <p>→316名/74戸 (R元)→400名/82戸 (R2)</p> <p>→477名/52戸 (R3→458名/89戸 (R4)</p> <p>→449名/81戸 (R5)</p> <p>集出荷場:72名/15場 (H30)</p> <p>→84人/17場 (R元)→102名/21場 (R2)</p> <p>→111名/14場 (R3)→96名/20場 (R4)</p> <p>→137名/20場 (R5)</p> <p>○外国人材の受入れ促進</p> <p>・外国人受入れ制度勉強会の開催</p> <p>15回:362名 (R2～R6)</p> <p>○外国人材の受入れ人数</p> <p>667人 (R元) → 686人 (R2) → 745人 (R3) → 896人 (R4) → 989人 (R5) → 1,125人 (R6)</p> <p>○送出国実態調査</p> <p>ベトナム:1回 (R5)、インド:2回 (R5～R6)、東ティモール:1回 (R6)</p> | <p>1 労働力の確保</p> <p>○JA無料職業紹介所の体制強化、連携による求人登録の促進とマッチング促進</p> <p>○長期就労が可能となる作業リレーシステムの構築、労働力の広域循環の仕組みづくり</p> <p>○多様な媒体を活用した県内外からの若農者の確保と受け入れ体制の整備</p> <p>○農作業ヘルパー制度の検討</p> <p>○福祉部局との連携による農業と福祉の相互理解の促進</p> <p>○障害者等の就業後のフォローアップによる就労定着</p> <p>○外国人材送出国との連携強化</p> | <p>1 労働力の確保</p> <p>①地域内外の労働力の掘り起こしとJA無料職業紹介所によるマッチング促進【R6～R9】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産者:求人情報の登録</li><li>・農業団体:JA無料職業紹介所の体制強化による労働力確保の仕組みづくりと異業種まで含めたマッチング促進、長期就労が可能となる作業リレーシステムの構築、労働力の広域循環の仕組みづくり、多様な媒体を活用した県内外からの若農者の確保と受け入れ体制の整備、農作業ヘルパー制度の実証等</li><li>・県環境農業推進課、県農業振興センター・労働力確保の仕組みづくりとマッチング促進への支援、農作業ヘルパー制度の実証への支援等</li></ul> <p>②農福連携の推進</p> <p>○農福連携に対する理解の促進と就業後のフォローアップによる就労定着【R6～R9】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産者:障害者等の受け入れ</li><li>・市町村、地域社会福祉協議会、障害者就労支援機関、県農業改良普及所、JA等:地域農福連携支援協議会の設置、就労・定着支援</li><li>・県福祉事務所、県社会福祉協議会、県環境農業推進課、(一社)県農業会議等:農福連携支援調整会議の設置、地域の取り組み支援、研修会や農作業体験会の開催、マッチング、お試し就労への移行促進</li></ul> <p>③外国人材の受入れ支援</p> <p>○外国人材の受け入れ促進【R6～R9】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生産者:外国人材の受け入れ</li><li>・農業団体:生産者の受入れニーズの把握、JA集出荷場における受入れ推進</li><li>・高知県中小企業団体中央会:監理団体・登録支援機関等受入れ体制の整備と指導、生産者のニーズに対するスムーズな受け入れ支援、送出国との連携強化</li><li>・県環境農業推進課、農業振興センター:外国人技能実習制度や特定技能外国人に関する情報収集と生産者、農業団体への周知、農業団体等の取り組み支援、受入れ可能な経営体の育成、送出国との連携強化</li></ul> | <p>＜外国人材の受入れ人数＞</p> <p>899人 (R5)</p> <p>↓</p> <p>1500人 (R9)</p> |

| 分野           |  | 農業 |
|--------------|--|----|
| 各産業分野の取り組みの柱 |  |    |

| No. | 戦略目標                                                                                       | 出発点               | 直近値                | 4年後<br>目標<br>(R9)   | これまでの取り組みと成果                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                               |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------------------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1   | ほ場整備の実施面積(累計)<br>【モニタリング方法】<br>・各センターからの月例報告<br>「事業進捗」により確認                                | 69.5ha<br>(R2～R4) | 144.6ha<br>(R2～R6) | 303.4ha<br>(R2～R9)  | 1 まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進<br>・プロジェクトチームを立ち上げ事業化に向けた体制を強化<br>・権利関係調査等の実施<br>【R3～R5: 5地区】<br>・ほ場整備実施計画の策定<br>【R2～R5: 8地区】<br>・人・農地プランを活用した地区の選定<br>【R4～R5: 9地区】<br><br>【成果: 整備面積 (R2～R6)】<br>・実績: 144.6ha(計画: 153.6ha)<br>達成度: 144.6/153.6=92.9%                                                             | 1 まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進<br>①入札不調・不落<br>・標準歩掛かりと中山間地域の実態との乖離など、地域によって入札不調・不落が発生<br>②地域の合意形成<br>・未相続農地の増加など地元調整に時間を要し、事業化が遅延<br>③まとまった農地の確保<br>・補助事業の要件(5ha)の確保が困難                                                                                                                                                                                 | 1 まとまった優良農地の確保に向けた基盤整備の推進<br>①地形条件等から選定したほ場整備候補地(58地区)などの事業化に向けた検証と推進<br>・各センターの企画担当チームを中心とするプロジェクトチーム(PT)により、58地区の重複把握と事業化の検証【R6】<br>・地域のニーズや検証結果から優先順位を設定し、PTを活用した事業化の推進【R6～R9】<br>②入札不調・不落対策【R6～R9】<br>・地域の実情を踏まえ、早期の見直し活用方式の採用<br>【課題への対応】<br>※地域の合意形成(未相続農地)、まとまった農地の確保の課題については、下段のきめ細かな基盤整備で対応 | ＜担い手用<br>農地整備<br>面積＞<br>90.9ha(R5)<br>↓<br>242.7ha(R9) |
| 2   | きめ細かな基盤整備の実施<br>地区(累計)<br>【モニタリング方法】<br>・農林水産省への事業採択<br>申請に基づく「採択件数」により確認                  | -<br>(R4)         | 3地区<br>(R6)        | 40地区<br>(R4～<br>R9) | 1 迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進<br>・県営農地耕作条件改善事業の創設<br>・施設園芸用農地整備【R2】<br>(事業要件:1.0ha以上)<br>・露地園芸用農地整備【R5拡充】<br>(事業要件:2.0ha以上)<br><br>【成果:地区数(R2～R6)】<br>・実績:2地区(2.2ha)                                                                                                                                       | 1 迅速かつきめ細かな優良農地の確保に向けた基盤整備の推進<br>①地域のニーズに応じた迅速かつきめ細かな基盤整備の推進【R6～R9】<br>・地元負担を求めない「県営農地耕作条件改善事業」の活用と拡充<br>【R6拡充 事業要件:施設園芸1.0⇒0.3ha、露地園芸等2.0⇒0.5ha】<br>・地域計画の策定段階で出された地域のニーズを活用した、実施予定地区のリスト化とリストの更新<br>・PTを活用し、事業計画の策定に向けた合意形成への支援<br>・新規就農者の確保・育成や産地の維持・発展などに向けた基盤整備の推進<br>・新たな候補地の確保に向け、振興センターや市町村、JA等と連携し、地域計画に位置づけられた担い手に対する事業周知と二入の確認          | ＜基盤整備面積＞<br>- (R5)<br>↓<br>20.0ha(R9)                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                        |
| 3   | 担い手への農地集積面積<br>(年間)<br>【モニタリング方法】<br>3月末の状況を、市町村への調査(担い手及びその農地利用の実態に関する調査)により確認(4月上旬とりまとめ) | 9,133ha<br>(R4)   | 9,098ha<br>(R5)    | 10,700ha<br>(R9)    | 1 担い手への農地集積の加速化<br>①地域計画の策定に向けた取り組み支援<br>・R5年度から、全市町村で地域計画の策定の取り組みを開始<br>・広域連絡会議(市町村)や広域連絡会議(関係機関)で情報共有、意見交換<br>・工程表による各市町村の進捗管理と進捗状況に応じた取り組み支援(個別面談)<br>・ファンリナーター一研修会の実施(3回)<br>・R6年度末までに、253地区で地域計画を策定<br>②担い手への農地集積の推進<br>・農地中間管理機構による農地の出し手・受け手の掘り起こし<br>受け手情報:307件・84.6ha(R5)<br>受け手情報:62件・80.5ha(R5) | 1 担い手への農地集積の加速化<br>①地域計画の策定・見直し取り組み支援【R6～R9】<br>・地域計画の策定支援【R6】<br>・将来の農地の受け手を定めた目標地区のブラッシュアップ支援【R7～R9】<br>・地域計画の実行・見直しに向けた取り組みが策定後も継続されるよう、広域連絡会議や個別面談等で働きかけを継続【R7】<br>②農地中間管理事業の活用拡大【R6～R9】<br>・市町村に対し機構集積協力の活用を推進し、担い手への農地の集積・集約化を促進【R7～R9】<br>・市町村等関係機関での後継者のいない農地の情報共有と利用調整の仕組みづくり【R6～R9】<br>・農地中間管理機構による広域の農地情報(出し手・受け手)の掘り起こしとマッチング支援【R6～R9】 | ＜担い手への農地集積率＞<br>35.7% (R5)<br>↓<br>45% (R9)                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                        |

| 分野                        |  |
|---------------------------|--|
| 農業                        |  |
| 農業全体をけん引する基盤整備の推進と優良農地の確保 |  |

| No. | 戦略目標 | 出発点 | 直近値 | 4年後<br>目標<br>(R9) | これまでの取り組みと成果                                                                                                        | 課題                                                                                                                                                                                                                                                       | 取り組み内容<br>(R6～R9)                                                                                                                                                                                                                                                | 主なアウト<br>プット目<br>標 (KPI)                                                |
|-----|------|-----|-----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 4   |      |     |     |                   | 1 日本型直接支払制度の推進<br>・中山間地域等直接支払の交付面積<br>R2: 6,414ha→R5: 6,512ha<br>・多面的機能支払の農地維持支払交付<br>面積<br>R2: 9,603ha→R5: 9,514ha | 1 日本型直接支払制度の推進 (R6～R9)<br>・中山間地域等直接支払協定の維持<br>・農業者(集落協定): 協定の締結、ネットワーク化、交付面積の維持<br>・市町村、県農業振興センター、県農業政策課: 協定の締結、ネットワーク化、営農活動体制の構築等への支援<br>② 中山間地域等直接支払交付金の活用<br>・農業者(集落協定): 協定に基づく農業生産活動の継続、農用地の維持、管理を実施<br>・市町村、県農業振興センター、県農業政策課: 制度の普及、啓発及び実施における指導・助言 | 1 日本型直接支払制度の推進 (R6～R9)<br>・中山間地域等直接支払協定の維持<br>・農業者(集落協定): 協定の締結、ネットワーク化、交付面積の維持<br>・市町村、県農業振興センター、県農業政策課: 協定の締結、ネットワーク化、営農活動体制の構築等への支援<br>② 中山間地域等直接支払交付金の活用<br>・農業者(集落協定): 協定に基づく農業生産活動の継続、農用地の維持、管理を実施<br>・市町村、県農業振興センター、県農業政策課: 制度の普及、啓発及び実施における指導・助言         | ＜交付面<br>積(年間)<br>><br>6,512ha<br>(R6)<br>↓<br>6,512ha<br>(R9)           |
|     | -    | -   | -   | -                 |                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                          | ① 多面的機能支払活動組織の維持<br>・農業者(活動組織): 活動組織の参画、多様な組織の参画、交付面積の維持<br>・市町村、推進協議会、県農業振興センター、県農業政策課: 活動組織の設立、営農活動体制の構築等への支援<br>② 多面的機能支払交付金(農地維持支払・資源向上支払)の活用<br>・農業者(活動組織): 非農家を含む地域コミュニティによる地域資源(農用地、水路、農道等)の保全管理の実施<br>・市町村、推進協議会、県農業振興センター、県農業政策課: 制度の普及、啓発及び実施における指導・助言 | ＜農地維<br>持支払交<br>付面積(年<br>間)><br>9,514ha<br>(R5)<br>↓<br>9,514ha<br>(R9) |

### 現状・課題

#### (1) IoPプロジェクトの推進

①データ連携基盤「IoPクラウドSAWACHI」の本格運用を開始(R4.9月～)

- ・IoPクラウド利用(環境・画像データ)農家:803戸(R7.3)
- ・IoPクラウド利用(出荷・気象データ)農家:1,603戸(R7.3)
- ・IoPクラウドデータ収集農家数:3,273戸(R7.3)

○主要7品目で特に平均収量以下の農家等ターゲットを絞った加入推進が必要

○雨よけ・露地野菜、果樹、花きなどに推進できていない

#### (2) データ駆動型農業による営農支援強化(R3～)

①IoPクラウドを核としたデータ駆動型農業の普及に取り組

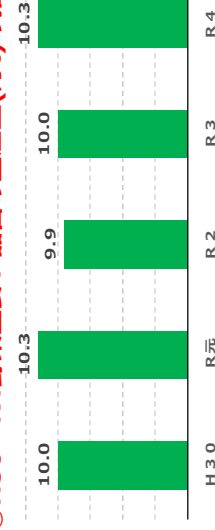
み、実践農家は一定増加

- ・データ駆動型農業による営農支援者数:2,028人(R7.3)
- ・仲間で情報共有するデータ共有グループ数:43グループ(R7.3)
- 若手指導員が増加していることから、早期育成が必要
- SAWACHIデータを活用した営農指導の徹底ができていない
- 個々の農家データの分析・診断・カイゼン指導(フィードバックシート作成)に時間がかかっている

①野菜主要7品目の生産量(万t)

|    | R 4 (出発点) | R 9    |
|----|-----------|--------|
| 目標 | 10.8万t    | 11.4万t |
| 実績 | 10.3万t    |        |

②H30～R4野菜主要7品目の生産量(万t)の推移



K P I 検証

### 5期計画(令和9年度)の目指す姿

#### 目標値 野菜主要7品目の生産量(年間)

出発点(R4)10.3万t ⇒ 現状値(R5)10.0万t ⇒ R7目標 11.0万t ⇒ 4年後(R9)11.4万t

- ①IoPクラウドを核としたデータ駆動型農業を推進することで、農業のデジタル化が加速
- ②データに基づく最適管理を行うデータ駆動型農業の普及により、各品目の10a当たり収量が増加。加えて、経営の効率化や省力化が図られ、経営安定と所得の最大化を実現！

### 令和7年度の取り組み

#### (1) IoPクラウド利用農家数の拡大

- ①主要7品目で平均収量以下の農家等ターゲットを明確化し支援を強化
- ②SAWACHIデモ体験による未加入農家への加入促進を徹底  
⇒KPI: IoPクラウド利用農家3,000戸

#### (2) IoPクラウドの機能強化

- ①SAWACHIの利便性の向上
  - ・デジタル機器に不慣れな層にもデータが見やすく便利に使える画面の構築
  - ・J Aと連携し加入後のフォロー体制を強化！
- ②営農支援機能の強化

拡

- ・生理生態情報に基づいた栽培管理のカイゼンポイントを自動表示する機能の開発
- ・病害発生予測画面や収量の目標達成管理画面等の開発による新機能の充実

#### ③収益改善機能の強化

拡

- ・省エネルギーやコスト削減につながる最適な温度管理や適正施肥をシミュレーションするGX関連機能の充実

#### (3) データ駆動型農業の支援体制強化

- ①多品目(施設野菜、露地野菜、果樹、花き)でデータを活用した指導ができる若手の早期育成に向けた研修の充実
- ②J Aと連携し、出荷データや環境データ、生理生態情報を活用した営農指導で収量増・品質向上

拡

#### (4) 個別診断の自動化に向けた取り組み

- ①フィードバックシート作成に必要なトップレベル農家との収量比較グラフの自動作成や、栽培上の注意点等の選択表示で作業を効率化

拡



SAWACHIのトップ画面



現状・課題

(1) 卸売市場と連携した販売拡大

①地域全体の販売額の増加

- 関東土佐会、関西土佐会への委託及び各市場の販売拡大活動を支援
- ・関東地区青果 (R5.9～R6.8)：販売額176億円 (前年比103%)
  - ・関西地区青果 (R5.9～R6.8)：販売額104億円 (前年比105%)

②継続した取扱につながる売り場確保を目指したフェアの実施

- ・量販店フェア回数 (R6.4～R7.3)：関東2,139回、関西309回
- ・量販店バイヤー等の産地招へい (R6.4～R7.3)：関東2回、関西2回

⇒高温による出荷量減で単価高となり、販売額は高く推移。

一方、出荷量が少ないことからフェアを組みづらくなっており、取扱量を確保する取り組みの強化が必要

(2) マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大

③①中食・外食・冷凍食品をターゲットにした戦略の策定

業務需要を主に取り扱っている企業との連携

- ・品目別の傾向分析：10品目(なす、ピーマン、キュウリ、ししとう、にら、米なす、土佐甘とう、みょうが、メロン、土佐文旦)
- ・生産者向け講演会：2回(安芸地区、香土長地区)
- ・その他、業務用商談ツールの検討、商談マッチング等を実施

⇒重点品目の戦略の実行と業務需要に対応できる産地づくり

②マーケットの要望に応じた弾力的な出荷形態等の検討

- ・業務筋が求めている品目別の規格、出荷形態等に関するニーズの把握はできたが、業務向けの規格や出荷形態に対応できていない
- ・新たな品目(露地含む)の業務需要の把握が不十分

⇒業務用ニーズに合わせた規格、品質の検証と新たな品目のニーズの把握。

5期 産業振興計画 KPI：JA年間販売額 (園芸年度9月～8月)

|    | R5(出発点) | R6    | R7    | R8    | R9    |
|----|---------|-------|-------|-------|-------|
| 目標 | —       | 614億円 | 626億円 | 638億円 | 650億円 |
| 実績 | 602億円   | 626億円 | —     | —     | —     |

5期計画 (令和9年度) の目指す姿

目標値 市場流通を中心としたJA販売額(年間)

出発点(R5(R4.9～R5.8))602億円 ⇒ 現状値 (R6) 626億円  
⇒ R7目標 626億円 ⇒ 4年後(R9(R8.9～R9.8))650億円

- ①大都市圏の関東および関西を中心に、品目別戦略を策定し、販売強化していくとともに、取扱量を拡大させ、高知県全体の販売額を拡大
- ②多様化する食スタイルに対応するため、業務需要への提案を強化し、マーケットを拡大

令和7年度の取り組み

(1) 卸売市場と連携した販売拡大

①地域全体の販売額の増加

- ・関東及び関西の土佐会への委託、全国の卸売市場への個別取り組み事業を実施
- R7青果販売額目標：関東地区 (関東土佐会) 179億円  
関西地区 (関西土佐会) 109億円

②継続した取扱につながる売り場確保を目指した

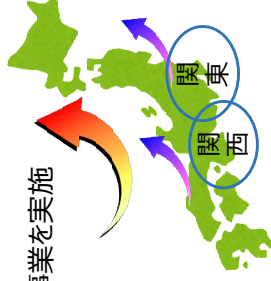
量販店フェアの実施

③万博や「あんばん」放送に合わせた県産青果物

の認知度向上

- ・「あんばん」放送にあわせた販促資材を活用した産地PR及び販売拡大
- ・万博の開催に伴う人流の増加を見据えて、関西圏の量販店等でフェアの実施
- ④系統取扱量アップに向けた産地のまとりの強化
- ・JA産地総点検運動の実行支援

2大都市圏を重点化することで  
全国の販売額を押し上げる



系統取扱量のUP



(2) マーケットインの視点による業務需要に応じた取引の拡大

①中食・外食・冷凍食品をターゲットにした戦略の実行

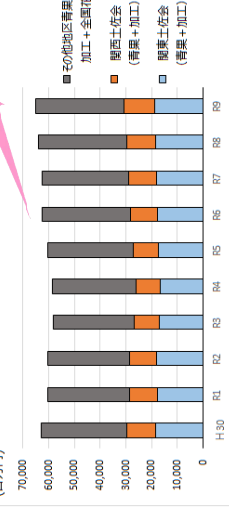
- ・業務需要を主に取り扱っている企業へ委託しJAの重点品目の戦略の実行支援
- ・品目と産地を決めて業務需要の取り組みを拡大

②マーケットの要望に応じた弾力的な出荷

形態等の検討

- ・新たな品目(露地含む)の業務需要の把握
  - ・ナス、ピーマンの業務筋の要望に合わせた規格による収量、品質などの栽培検証
- ⇒ KPI：JAの買い取り販売額 45億円  
(R6.9～R7.8)

図 販売額の推移と目標



現状・課題

(1) 品目別輸出戦略に基づいた需要・販路拡大

①委託事業を通じた、県産農畜産物の認知度向上及び輸出拡大(ユズ果汁)

・毎年約7ha増反しているが需要に供給が追いついていない状況  
⇒需要が見込まれる東南アジアへの販路開拓が必要(慣行栽培)

⇒世界的に引き合いの強い有機的栽培の拡大

(青果物)

・東南アジア(特にシンガポール) 中心に量販店等へ納入

・みかん以外は食習慣の違いや鮮度保持のため航空機利用により販売単価が高くなり苦戦している

⇒高知県産農畜産物の認知度が高くない

⇒食習慣が異なるため食べ方の提案が必要

⇒輸出拡大にはシンガポール以外の国へもアプローチが必要

(花き)

2. オランダの見本市や米国の卸に県産花きを紹介しPR

⇒輸出メインはグロリオサ、その他品目の輸出拡大も必要

(畜産)

・タイ向け牛肉輸出認定を取得し、土佐あかうしプロモーションを開始

⇒新たなブランド牛「土佐黒牛」の需要創出も必要

(2) 輸出に意欲的な産地への支援強化

①商談機会の増強

・課が出展小間を確保し商談会への出展を誘導

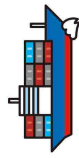
・日本青果物輸出促進協議会(品目団体) 事業や水産部署

との連携によるPR・商談の実施

⇒県補助では商談機会が限られ開催方法等の検討が必要

⇒輸出に取り組む産地・団体が限られている

KPI



単位：百万円

|                 | R3実績 | R4実績 | R5実績  | R5目標 | R6目標 | R7目標 |
|-----------------|------|------|-------|------|------|------|
| 青果物             | 25   | 45   | 83    | 239  | 88   | 90   |
| 花き              | 92   | 85   | 122   | 159  | 110  | 130  |
| ユズ(果汁・<br>青果・皮) | 427  | 745  | 806   | 434  | 507  | 550  |
| 畜産              |      |      | 0     | 30   | 4    | 6    |
| 計               | 544  | 876  | 1,011 | 862  | 706  | 776  |

注) ①R4年のユズは前年在庫分の販売額300百万円が加算されています

②R5年のユズは豊作で生産量が前年の約155%

5期計画(令和9年度)の目指す姿

目標値

農畜産物の輸出額：R3年度5.4億円⇒現状値(R5)10.1億円  
⇒R7目標7.8億円⇒4年後(R9)10億円

注) R4、5年のユズは在庫分が急に捌けたり豊作であった特殊年となりユズが急伸した

①青果物はシンガポール以外の東南アジアへのアプローチを強化し輸出拡大

②生産増が見込まれる慣行栽培のユズ果汁を東南アジアで販路拡大

③品目団体の事業や他部署との連携により商談機会を強化し輸出拡大



令和7年度の取り組み

(1) 品目別輸出戦略に基づいた需要・販路拡大

①ユズの販路拡大に向けた支援(加工品含む)

・東南アジア向け：下記表の3カ国を中心に慣行栽培ユズの積極的なPRを実施

・EU圏向け：有機的栽培ユズを輸出商社と協力し販売拡大

○委託企業を通じた取り組み(青果物・畜産)

| 国名     | 推進方向                                                       |
|--------|------------------------------------------------------------|
| マレーシア  | テストマーケティングによる販路拠点の探索                                       |
| タイ     | ユズ加工品製造メーカーや茶産地、和牛肉販売事業者と連携した県農畜産物のPR(展示商談会)               |
| シンガポール | 県産農畜産物の認知度向上と定着(R6年作成レシピを活用し食して知ってもらう取り組みを強化：一般消費者向け試食会など) |

○卸売市場を通じた取り組み(青果物・花き)

青果物：シンガポール、香港、グアムなどへ大手量販店などを通じ拡大

花き：米国中心にグロリオサを主にその他品目についても輸出拡大

(2) 輸出に意欲的な産地への支援強化

○ユズ産地への支援

・有機栽培の面積拡大に向けた、有機質肥料の施肥技術及び省力的な

除草技術等の実証結果を生かした有機的栽培への移行支援(大豊町)

・輸出も視野に入れた各産地における生産拡大計画の作成支援

①ユズ以外の品目への支援

・輸出への意識高揚に向けた取り組み強化(セミナー開催等)

○商談機会の増強等(青果物・花き・畜産)

・品目団体事業を積極的に活用し商談機会や商談国を拡大

・水産物等と連携したPRによる商談機会の強化

現状・課題

(1) 夏期の高温による農作物の被害の現状

① 野菜

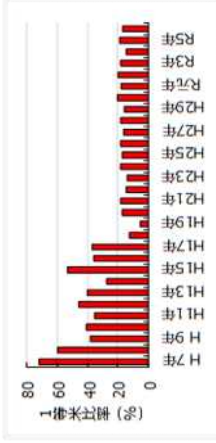
記録的な猛暑となった令和6年には、露地野菜（シシトウ等）での収量の低下、施設野菜（ナスやピーマン等）での初期生育の不良、といった被害が発生

② 水稲

高温の影響を受けやすい主力品種「コシヒカリ」、「ヒノカリ」では、見た目や味が悪くなる「白未熟粒」が増加  
⇒ 1等米比率の低下要因



「白未熟粒」



③ 果樹

新高ナシでは、見た目や味が悪くなる「みつ症」が発生し、収量・品質が低下



ナシの「みつ症」

(2) これまでの取り組み等と課題

① 野菜

ア 猛暑が常態化すれば、その他野菜でも被害拡大が懸念  
⇒ 高温対策として効果が期待できる機器・資材の導入や新たな技術の開発が進んでいない

② 水稲

ア 田植え時期の移動、適正な施肥・水管理等を指導  
イ 高温に強い品種への転換を推進  
⇒ 適正管理や品種転換等、対策技術の周知が不十分

③ 果樹

ア 適期収穫、高温に強い品種への転換を推進  
イ 遮光ネットの活用、国事業でのスプリンクラー導入を推進  
⇒ 新高ナシの単価が高いため、品種転換に踏み切れない

5 期計画（令和9年度）の目指す姿

目標値 野菜主要11品目の反当収量

出発点・現状値(R5) 7.6t /10a ⇒ R7目標 8.3t/10a ⇒ 4年後(R9) 8.6t/10a

① 適正な管理の徹底、高温に強い品種への転換を強化

② 新たな機器・資材等を実証

③ 高温対策として効果が期待できる機器・資材の導入を支援

厳しい自然環境のもとでも  
持続可能な農業を実現

令和7年度の取り組み

(1) 施設園芸品目 ⇒ KPI: 新たな機器・資材等の実証成果 5 事例

① 国事業や県事業（園芸用ハウス等リノベーション事業）を活用したミスト装置や遮光資材などの導入支援

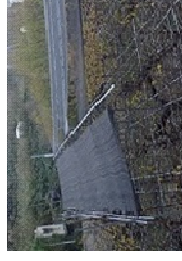
新 ② 県事業（園芸用ハウス整備事業）で高温対策設備を導入する場合、補助対象限度額を上乗せ

新 ③ 担い手育成センター、現地での換気扇や遮光資材の実証

新 ④ 試験場での熱を通さない赤外線カットフィルムや外張り資材の実証



外部遮光資材



遮光ネット



ミスト装置

(2) 露地園芸品目

① 国事業や県事業（園芸用ハウス等リノベーション事業）を活用したスプリンクラーやかん水設備の導入支援

(3) 水稲

拡 ① 白未熟粒の発生抑制対策（適正管理、品種転換）の推進強化  
ア 県域の稲作検討会、地域での栽培講習会や栽培反省会などの推進  
イ JA窓口、JA「ニマル」、JA広報誌や「SAWACHIニュース」を活用した情報発信や啓発

(4) 果樹（新高ナシ）

拡 ① 遮光ネットの設置推進と国事業によるスプリンクラーの導入支援  
② 産地維持のための「みつ症」多発園での国事業を活用した高温に強い品種への転換支援  
③ 試験場での「みつ症」発生を抑制する台木品種の開発

